

岡山実験動物研究会の30年間の活動

30-year activity of Okayama Association for Laboratory Animal Science

佐藤 勝紀
Katsunori Sato

岡山大学農学部・岡山実験動物研究会名誉会員

Faculty of Agriculture, Okayama University,

Honorary member in Okayama Association for Laboratory Animal Science

岡山実験動物研究会は平成24年12月7日に創立30周年を迎えました。本研究会は猪 貴義先生(岡山大学名誉教授・本研究会名誉会員)、永井 廣先生(岡山大学名誉教授)、倉林 譲先生(岡山大学医学部客員研究員・本研究会名誉会員)が呼びかけ人となり、昭和57年12月7日に岡山郵便貯金会館(現メルパルク OKAYAMA)で発足しました。

本研究会は大学や学部、研究機関の枠を越えて、実験動物と動物実験に関心ある方々の集まりの場として、また知識と情報の交換の場として、それぞれの研究の発展と地域における科学の進展に寄与することを目的として設立されました。

これまでの歴代会長のリーダーシップの下で、理事・常務理事・監事の先生方が中心となって企画され、研究会の開催・運営、会報の発行などがなされてきています。長い期間にわたって研究会が開催、運営できたのは会員皆様のご指導とご鞭撻さらには賛助会員の絶大な援助並びに平成5年から13年までの9年間にわたる岡山県新技術振興財団(現岡山県産業振興財団)の共催・後援及び平成14年から現在迄の日本生物工学会西日本支部の協賛に依拠しています。

本研究会は昭和58～62年までは(但し昭和59年は2回)年に3回開催し、平成2年以降、夏(6～7月)と冬(11～12月)に定期的に年2回開催していますが、この30年間に64回の研究会の開催と第29号研究会報の発行を行ってきました。定期的な研究会とは別に、臨時特別講演会(昭和60年11月5日)、特別講演会(平成9年3月6日)も開催しました。

以下、これまでに開催された研究会の年月日、会場と企画内容の概略について記載します。

第1回研究会 昭和57年12月7日(火)15:00～
(設立總會) 郵便貯金会館(現メルパルク OKAYAMA)2階会議室 26名の参加者 特別講演「実験動物における発生のひずみの技法別研究法」永井廣教授(岡山大学歯学部)、「岡山実験動物研究会の今後のあり方」についての討論、懇親会。

第2回研究会 昭和58年4月30日(土)14:00～ 岡山大学農学部本館3階第5講義室 世話役 猪 貴義先生) 研究会会則についての審議、承認。特別講演「哺乳動物による変異原性試験」土川 清先生(国立遺伝研究所、静岡実験動物研究会会長)、「実験動物研究における最近の話題」猪 貴義先生(岡山大学・農学部)。

第3回研究会 昭和58年9月30日(金)14:00～ 重井医学研究所集会所 世話役 沖垣 達先生 映画上映「染色体に書かれたネズミの歴史」吉田俊秀先生(国立遺伝学研究所・細胞遺伝学研究所・細胞遺伝部長)編集。特別講演「哺乳類発生学の基礎と応用」館鄰先生(東大・理学部)。

第4回研究会 昭和58年12月3日(土)14:00～ 林原生物化学研究所・藤崎研究所 世話役 栗本雅司(所長) 特別講演「林原生物化学研究所の概要」栗本雅司先生(林原生物化学研究所・藤崎研究所長)、「実験動物の開発一特にその遺伝学的手法について」永井次郎先生(カナダ農商務省研究所・部長)、(林原生物化学研究所見学)。

第5回研究会 昭和59年5月19日(土)13:30～ 岡山大学歯学部第1講義室 世話役 永井 廣先生 特別講演「先天異常に関する動物データの解釈一とくにヒトへの外挿」西村秀雄先生(京都大学名誉教授)、「Genetic engineering in Destiny」Harold M. Slavkin 教授(南カリフォルニア大学)。

第6回研究会 昭和59年12月8日(土)13:30～ 岡山大学医学部図書館講堂 世話役 倉林 譲先生 特別講演「動物実験と私」小川勝士教授(岡山大学・医学部・病理学教室)、シンポジウム「実験動物の飼育・手技・管理・購入における問題点」(6題):「新薬開発における動物実験の問題点」亀井千晃先生(岡山大学・薬学部)、「中央動物実験施設運営における人間の意識調査の問題について」北 徳先生(川崎医大・実験動物飼育センター)、「岡大医学部附属動物実験施設における管理運営上の問題点とその対策について」倉林 譲先生(岡山大学・医学部・動物実験施設)、「ハムスター新生児の胸腺摘出と問題点」元田龍一先生(林原生物化学研究所)、「重井医学研究所動物実験室の現状と問題点」内藤一郎先生(重井医学研究所)、「岡山大学農学部における実験動物の飼育管理の問題点」佐藤勝紀(岡山大学・農学部)。

第7回研究会 昭和60年4月27日(土)13:30～ 岡山大学薬学部第2講義室 世話役 田坂賢二先生 一般講演(7題)「実験動物の薬効評価への応用」赤木正明先生(岡山大学・薬学部)、「マウスにおける体重選抜とその効果」河本泰生先生(岡山大学・農学部)、「実験用ウサギに寄生するウサギツメダニについて」小郷哲・北 徳・山下貢司各先生(川崎医大・実験動物飼育センター)、「我々の飼育したハムスターにおける自然発生腫瘍について」矢部芳郎先生(岡山大学・医

学部)、「経験に基づく実験動物の行動変容」三谷憲一先生(岡山大・文学部)、「小動物の水洗ラックでの飼育、特に出産について」河口充宏先生(榊林原生物化学研究所)、「実験動物飼育施設より分離される緑膿菌の血清型について」北徳・山下貢司各先生(川崎医科大・実験動物飼育センター)・山口司先生(川崎医科大・附属病院中央検査部)。

第8回研究会 昭和60年9月28日(土)13:30～川崎医科大学メディカルミュージアム小講堂 世話役 山下貢司先生 一般講演(4題)「実験用ウサギの無菌人工哺育について」小郷哲・北徳・山下貢司各先生(川崎医科大・実験動物飼育センター)、「ラットの実験系球体腎炎の起こりやすい系統、起きづらい系統」佐渡義一・内藤一郎・沖垣達各先生(重井医学研究所)、「川崎医大メディカルミュージアムにおける肉眼標本の作製:実験動物の利用について」広川満良・三宅康之・原由美・上野幸子各先生(川崎医科大)、「中央実験動物施設の備えるべき機能とそれを機能させるに必要な条件について」北徳先生(川崎医科大・実験動物飼育センター)、交見会:テーマ1「動物実験施設中央化の得失」、テーマ2「動物実験における研究者と技術者の役割分担」。

臨時特別講演会 昭和60年11月5日(火)15:10～岡山大農学部講義室 特別講演1題「New inbred and congenic strains mice developed for biomedical research in Poland」ポーランドにおいて医学生物学研究用に対して新しく開発された近交系マウスならびにCongenic strain マウスについて Dr. Alina Crarnomska(ポーランド・ワルシャワ癌研究所, ICLAS Histocompatibility Center)

第9回研究会 昭和60年12月14日(土)13:30～ノートルダム清心女子大学ジュリーホール大会議室 世話役 高橋正侑先生 一般講演(5題)「実験動物とミネラル、Rat を中心として」高橋正侑先生(ノートルダム清心女子大・家政学部)、「草食小動物における大腸の飼料消化能」坂口英先生(岡山大・農学部)、「Golden Hamster の生育に及ぼす給餌・給水条件の影響」河口充宏先生(榊林原生物化学研究所)、「ゴールデン・ハムスターの成長における性二型について」山田明央氏(岡山大・農学部)、「抗生物質とアルコール」亀井千晃先生・田坂賢二先生(岡山大・薬学部)。

第10回研究会 昭和61年5月10日(土)13:30～岡山大学農学部第5講義室 世話役 猪貴義先生 一般講演(4題)「自動水洗ラックによる実験用小動物の大量飼育」河口充宏・高木栄太郎・馬場洋子・二溝久江・佐藤芳範・栗本雅司各先生(榊林原生物化学研究所)、「顆粒球系骨髄細胞の増殖について」中矢直樹氏・田坂賢二先生(岡山大・薬学部)、「霊長類胃粘膜の比較形態」鈴木一憲・永井廣各先生(岡山大・歯学部)、「実験動物としての日本ウズラの開発」佐藤勝紀(岡山大・農学部)、シンポジウム「動物の集団をどのようにとらえるか」(3題)「昆虫の集団」吉田敏治先生(岡山大・農学部)、「動物集団の行動についての一解析」渡辺宗孝先生(岡山大・教養部)、「実

験動物における社会構造と密度効果」河本泰生先生(岡山大・農学部)。

第11回研究会 昭和61年9月13日(金)14:00～重井医学研究所4階講堂 世話役 妹尾左知丸所長・沖垣達先生 話題提供「最近の実験動物の開発と設備、施設に関する話題」(2題)「MCH動物の開発」田中福志氏(日本クレア)・斎藤宗雄・吉村幸夫各先生(実中研)、「バイオハザード対策の設備及び施設計画」掘田勝氏(日本クレア)、特別講演(2題)「実験動物とのつき合い」妹尾左知丸先生(重井医学研究所所長)、「原爆放射線がもたらした災害—レントゲンからチェルノブイリまで」阿波章夫先生(広島放射線影響研究所・遺伝学部長)。

第12回研究会 昭和61年12月6日(土)14:00～林原生物化学研究所・藤崎研究所会議室 世話役 栗本雅司所長 特別講演(1題)「実験動物における Genetic Monitoring の意義と役割」山田淳三教授(京都市大・医学部)、一般講演(3題)「スunksの歯の発生」近藤信太郎先生(岡山大・歯学部)、「Dietary Fiber について」中永征太郎先生(ノートルダム清心女子大・家政学部)、「自動水洗ラックを用いた小動物の大量飼育」佐藤芳範先生(榊林原生物化学研究所)、研究会会則(第6条)改正について審議、承認、懇親会。

第13回研究会 昭和62年3月30日(土)14:00～岡山大学医学部臨床講堂 発生工学懇談会、岡山バイオ懇話会との共催 世話役 永井廣先生 フォーラム「生物のかたち作りの謎をとく—発生工学への道」記念講演 Nicole M. LeDouarin(ニコル・M・ルドワラン)教授:フランス科学振興発生学研究所所長、京都賞・先端技術部門受賞、賛助講演「細胞をよりわかる分子と動物のかたち作り」竹市俊雅教授(京都大・理学部)。

第14回研究会 昭和62年9月5日(土)13:30～岡山大学薬学部大講義室 世話役 田坂賢二先生 一般講演(7題)「実験動物としての海産無脊椎動物」三枝誠行先生(岡山大・教養部)、「AKR マウスのけいれんと脳内モノアミン」片山泰人・加太英明・森昭胤各先生(岡山大・医学部・脳代謝研究施設)、「小動物の大量飼育における自動給餌器の開発」石川哲之・河口充宏・佐藤芳範・栗本雅司各先生(榊林原生物化学研究所)・倉林讓先生(岡山大・医学部)、「マウスにおける自発行動と親行動について」野崎大典氏・猪貴義先生(岡山大・農学部)、「イヌの migrating myoelectric complex に対する cholecystokinic の作用」亀井千晃・田坂賢二各先生(岡山大・薬学部)、「霊長類の胃粘膜における粘液物質の分布と機能」鈴木一憲・永井廣各先生(岡山大・歯学部)、「Wistar 系ラットの行動の時系列的分析—FT(fixed time)のスケジュールを用いて」杉本完二氏(岡山大・文学部)、懇親会。

第15回研究会 昭和62年12月5日(土)13:30～岡山郵便貯金会館 特別講演(3題)「動物の行動に関する記憶の機制」平野俊二先生(京都大・文学部)、「哺

乳類中枢神経系の発生と分化」御子柴克彦先生(大阪大・蛋白質研究所)、「実験動物における発生工学の進歩」豊田 裕先生(東京大・医学研究所)、懇親会。

第16回研究会 昭和63年5月28日(土)13:30～岡山大学文学部会議室 世話役 三谷恵一先生 特別講演(1題)「動物実験に影響する諸要因とその制御」後藤信男教授(神戸大農学部)、一般講演(3題)「ウズラ卵殻腺のカルシウム輸送細胞に関する微細構造学的研究」山本敏男・永井 廣各先生(岡山大・歯学部)、「アロキサン誘発糖尿病高発症系・低発症系マウスの選抜育種と両近交系間の耐糖能の比較」尾方英徳氏・猪 貴義先生(岡山大・農学部)。

「Interractions of some trace element nutrients and xenobiotics metabolism」Dr. G. Stanley Smith (Department of Animal and Range Sciences, New Mexico State University, Professor)。

第17回研究会 昭和63年12月10日(土)15:00～岡山大学歯学部第1講義室 歯学部口腔解剖第1講座との共催 世話役 永井 廣先生 特別講演(2題)「咀嚼システムにおける感覚入力の影響」窪田全次郎先生(東京医科歯科大学名誉教授)、「Basic research in teratology」Dr. G. H. Schumacher (Rostock University, Professor)。

第18回研究会 平成元年2月2日(土)14:00～まきび会館(現ヒュアリティまきび) 特別講演(3題)「実験動物としてみた節足動物」山口恒夫教授(岡山大・理学部)、「実験動物としてのショウジョウバエ」浅田伸彦先生(岡山理科大・理学部)、「バイオテクノロジーの応用による新しい実験動物の開発」東條英昭先生(富山医科薬科大)、懇親会。

第19回研究会 平成2年6月30日(土)14:00～岡山大学農学部第5講義室 世話役 猪 貴義先生 一般講演(6題)「近交系シリアンハムスターにおける多型性の有無の検討—mtDNA 制限酵素切断型を用いて」山下 摂¹氏・猪 貴義¹・米田嘉重郎²各先生(¹岡山大・農学部、²東京医大・動物実験センター)、「線虫 C. エレガンス麻酔剤応答異常に関わる遺伝子群」安藤秀樹氏(岡山大・理学部)、「C58 マウスのけいれんについて」片山泰人先生(岡山大・医学部)、「ハムスター出産日のコントロールによる出産仔利用率の向上」花谷利春・杉本純夫・田中恵美・滝本 晃・齊藤聡・杉本利行・栗本雅司各先生(榊林原生物化学研究所・藤崎研究所)、「白ネズミにおける食餌の Bulk と摂取量」中永征太郎先生・彌益あや・佐藤政郎各氏(ノートルダム清心女子大・家政学部)、「F344/DuCr ラットにおける円または三角形刺激の後期分化的知覚学習の効果(2) —円刺激または三角形刺激の単側提示検査の結果」三谷恵一教授(岡山大・文学部)、懇親会。

第20回研究会 平成2年12月1日(土)14:00～まきび会館 特別講演(3題)「動物実験における腎症候性出血熱の発生と終息」山之内孝尚先生(元大阪大・微生物研究所 教授)、「神経細胞の雑種形成」石井一宏先生(京都大・ウイルス研究所)、「アセチルコ

リンおよびヒスタミン吸入に対する気道感受性を異にするモルモット 2 系統の選抜育種」三上博輝先生(日本臓器株・生物活性科学研究所)、研究会会則の改正についての審議、承認、懇親会。

第21回研究会 平成3年7月12日(金)13:00～林原生物化学研究所・吉備製薬工場 世話役 栗本雅司所長・佐藤芳範工場長 特別講演(2題)「癌と動物」栗本雅司先生(榊林原生物化学研究所・藤崎研究所)、「岡山の自然と生物」三枝誠行先生(岡山大・教養部)、一般講演(2題)「ラット肝臓メチオニン代謝に及ぼすビタミン B₁₂ 欠乏の影響」河田哲典先生(岡山大・教育学部)、「嘔吐運動のパターンを形成する中枢神経機構」古我知成・福田博之各先生(川崎医科大)、工場見学、懇親会(体験学習農園)。

第22回研究会 平成3年11月30日(土)13:30～まきび会館 特別講演(3題)「動物の子育てについて」福本幸夫先生(広島市安佐動物公園)、「今注目をあびている実験動物“スunks”について」松本則夫先生(東京大・薬学部)、「ヒト疾患モデル動物の開発」猪 貴義教授(岡山大・農学部)、岡山実験動物研究会名誉会員(猪 貴義先生)の授与・表彰式、懇親会。

第23回研究会 平成4年6月20日(土)13:00～岡山県総合畜産センター 世話役 牧野充伸次長及びセンター関係者、昼食会(まきびの館)、特別講演(2題)「哺乳動物初期胚の凍結保存と体外受精」野上興志郎先生(岡山県総合畜産センター・専門研究員)、「薬効開発と疾患モデル動物」新井成之先生(榊林原生物化学研究所・藤崎研究所)、場内見学。

第24回研究会 平成4年12月4日(金)13:00～まきび会館 特別講演(3題)「医学・生物学における先端技術としての放射線利用」大原 弘教授(岡山大・教養部)、「がんと免疫」中山睿一教授(岡山大・医学部)、「環境の発がん物質に対するヒト曝露の研究方法」早津彦哉教授(岡山大・薬学部)、懇親会。

第25回研究会 平成5年6月18日(金)13:30～重井医学研究所 岡山県新技術振興財団との共催 世話役 沖垣 達所長及び関係者 一般講演(3題)「初期経験と後期経験との組合せによる心理的機能と生理的機能の変化」三谷恵一教授・Ben Hassine Dhaigham・Dueri Fabiola 各氏(岡山大・文学部)、「吉備製薬工場のハムスター生態の観察(その1) 昼間と夜間の交尾行動」川崎翁史・池上哲也・中嶋尚丈・三藤雅之・古田拓司・山根由弘・安藤駿作各先生(榊林原生物化学研究所・吉備製薬工場)、「スunks 脳の糖脂質分析」渡辺清博先生(重井医学研究所)、特別講演(1題)「動物におけるシートからの形づくり」本多久夫先生(新技術事業団・古里再生機構プロジェクト)。

第26回研究会 平成5年12月17日(金)13:00～まきび会館 岡山県新技術振興財団共催 招待講演(1題)「モンゴル・ゴビ砂漠における恐竜調査」石井健一教授(近畿大・榊林原自然科学博物館 準備室長)、記念講演(2題)「実験動物と私達」矢部芳郎教授(岡山大・医学部)、「動物としての細胞」田坂賢二教授(岡

山大・薬学部)、岡山実験動物研究会名誉会員(矢部芳郎先生、田坂賢二先生)の授与・表彰式、懇親会。

第27回研究会 平成6年6月25日(土)14:00～岡山大学教育学部 岡山県新技術振興財団共催 世話役 河田哲典先生 一般講演(3題)「イヌの中樞神経による胆汁排出と自律神経性胆汁排出調節」古川直裕¹・岡田博匡²各先生(¹川崎医大・²川崎医療福祉大)、「ヒトIFN- α プロモーターを使用した糖蛋白質産生システム」伊藤(旧姓:佐藤)美千代・森 哲也・山本康三・太田恒孝・阪本知代・小出一広・村上欽俊・藤井光清・福田恵温・栗本雅司各先生(榊林原生物化学研究所・藤崎研究所)、「ムコ多糖症モデルラットにおける疾患原因遺伝子の解析」国枝哲夫先生(岡山大・農学部)、特別講演(1題)「内分泌細胞における細胞増殖の調節」高橋純夫先生(岡山大・理学部)。

第28回研究会 平成6年12月2日(金)13:00～メルパルク OKAYAMA(岡山郵便貯金会館) 岡山県新技術振興財団との共催 特別講演(2題)「実験動物とワクチンの品質管理」小野耕一先生((財)阪大微生物研究会)、「遺伝子ノックアウトマウス作製と免疫応答解析への応用」高井俊行先生(岡山大・工学部)、招待講演(1題)「ケージサイズについて考える」佐藤徳光先生(新潟大・医学部・附属動物実験施設)、懇親会。

第29回研究会 平成7年7月1日(土)13:15～ノートルダム清心女子大学 岡山県新技術振興財団共催 世話役 高橋正佑先生 一般講演(3題)「ラット・マウスの睾丸に及ぼすビタミンB₁₂欠乏の影響」河田哲典先生(岡山大・教育学部)、「モルモットを用いたアレルギー性結膜炎モデルの作成とその応用」高田美穂女史・山地雅子・出石啓治・杉本幸雄・亀井千晃各先生(岡山大・薬学部)、「嘔吐運動のパターンを形成する中枢神経機構 その2」古我知成・福田博之各先生(川崎医科大)、特別講演(1題)、「抗がん剤誘発脱毛モデル動物の作成と脱毛抑制剤」高畑京也先生(岡山大・農学部)、懇親会。

第30回研究会 平成7年12月1日(金)13:00～メルパルク OKAYAMA(郵便貯金会館) 岡山県新技術振興財団共催 記念写真撮影、特別講演(4題)「家庭を取り巻く害虫」三宅 忠氏(岡山ペストコントロール協会)、「ゴキブリよもやま話」西村 昭先生(アース製薬㈱・研究顧問)、「動物睡眠-防衛行動としての死んだふり」酒井正樹先生(岡山大・理学部)、「細胞ガン化の機構」清水憲二教授(岡山大・医学部)、懇親会。

第31回研究会 平成8年6月29日(土)13:10～川崎医科大学・附属図書館講堂 岡山県新技術振興財団共催 世話役 初鹿了先生 一般講演(4題)、「昆虫腹筋の神経支配とその興奮性接合部位電位の生理学的性質」川崎史子・喜多 弘各先生(川崎医科大)、「ヒト白血病細胞株のハムスター着生試験とその有効利用について」古谷聡美・伊藤美千代・新井成之・栗本雅司各先生(榊林原生物化学研究所・藤崎研究所)、「アレルギー性疾患モデルとしてのBN系ラ

ットの有用性」大石浩子氏・杉本幸雄・亀井千晃各先生(岡山大・薬学部)、「4型コラーゲンの自己免疫疾患である抗CBN抗体腎炎の動物モデルによる解析」佐渡義一先生(重井医学研究所)、特別講演(1題)「広島大学医学部附属動物実験施設の紹介と実験動物の眼検査について」古川敏紀先生(広島大・医学部・附属動物実験施設)。

第32回研究会 平成8年11月29日(金)13:00～ルネサンス岡山(ギャラリー・ルネサンス) 岡山県新技術振興財団共催 特別講演(3題)「大型ウサギの実験動物化に関する研究」松田幸久先生(秋田大・医学部・附属動物実験施設)、「コラーゲン遺伝子改変と動物疾患モデル」二宮義文教授(岡山大・医学部)、「マスト細胞分化異常動物」北村幸彦教授(大阪大・医学部)、懇親会(カフェ・ルネサンス)。

特別講演会 平成9年3月6日(木)15:00～岡山大学農学部講義室 特別講演「Recent cytogenetic investigation in livestock in Europe—an overall view」Dr. Gerald Stranzinger (Swiss Federal Institute of Technology, Professor)。

第33回研究会 平成9年7月12日(土)13:15～岡山大学農学部 世話役 佐藤・国枝 一般講演(4題)、「マウス Anti-mullerian hormone receptor 遺伝子のマッピング」小鹿 泉氏・国枝哲夫先生(岡山大・農学部)、「小型熱帯魚グッピーの放射線生物学」大原 弘教授(岡山大・理学部)、「コカイン反復投与におけるマウスの痙攣感受性亢進におけるポリアミンの役割」霜里和朗¹・渡辺 悟¹・桂昌 司¹・大熊誠太郎¹・斎藤泰一²各先生(川崎医科大・薬理学、²川崎医療福祉大・医療福祉学部・保健看護学科)、「ウサギのケージ内における行動学的観察—特に在来型FRP ケージとSCANBER ケージとの比較について」倉林譲先生・上山和貴・大光宗義各氏(岡山大・医学部・附属動物実験施設)、特別講演(1題)「ヒト Wilson 病モデル、肝癌モデル、免疫不全モデルとしてのLECラット」松本耕三先生(徳島大・医学部・附属動物実験施設)、懇親会(農学部中会議室)。

第34回研究会(創立15周年記念大会) 平成9年11月28日(金)13:00～メルパルク OKAYAMA 岡山県新技術振興財団共催 記念写真撮影、記念講演(1題)「ライフサイエンスの展開と実験動物」猪 貴義先生(岡山大学名誉教授・日本実験動物協会副会長)、特別講演(2題)「疾患モデル動物の開発とその応用」菊池建機先生(国立精神・神経センター・モデル動物開発部・部長)、「癌の遺伝子治療」田中紀章教授(岡山大・医学部・第一外科)、懇親会。

第35回研究会 平成10年7月18日(土)13:30～岡山大学薬学部大講義室 岡山県新技術振興財団共催 世話役 亀井千晃先生 一般講演(4題)「白ネズミにおける食餌のエネルギー・食物繊維化と糞便の形状について」中永征太郎教授(ノートルダム清心女子大・家政学部)、「育種選抜によるハムスター法改善の可能性について」野村 穰・久保田研二・小出一広・伊藤美千代・池田雅夫・栗本雅司各先生(榊林原

生物化学研究所・藤崎研究所)、「ラット脳波におよぼす抗ヒスタミン薬の影響」齊藤康一氏・亀井千晃先生(岡山大・薬学部)、「マウス XVIII型コラーゲンの組織内局在」内藤一郎¹・香川 恵¹・二宮善文²・佐渡義一¹各先生(¹重井医学研究所、²岡山大・医学部)、特別講演(1 題)「薬物依存形成における diazepam binding inhibitor (DBI) の役割」大熊誠太郎・桂昌司各先生(川崎医科大・薬理学教室)、岡山大農学部・薬学部動物実験施設見学、懇親会。

第36回研究会 平成10年11月27日(金)13:30～岡山国際交流センター・国際会議場 岡山県新技術振興財団後援 特別講演(2 題)「両生類の経皮的水分摂取機構と陸上適応」上島孝久先生(岡山大・教育学部)、「骨粗鬆症疾患モデルとその評価について」西崎泰司先生(梶原生物化学研究所・藤崎研究所)、記念講演(1 題)「内分泌攪乱物質(環境ホルモン)の何が問題か」井口泰泉先生(横浜市立大学・理学部、現岡崎国立共同)、懇親会。

第37回研究会 平成11年5月26日(水)13:30～岡山大学医学部図書館(鹿田分館)3階講堂 岡山県新技術振興財団共催 世話役 倉林 譲先生 一般講演(2 題)「Tg 動物飼育用ラック「ルフトン Tg」の開発」斎藤正信¹・大城匡豊¹・銀 一之²・橋詰俊雄²各氏・倉林 譲³先生(¹大気社、²白銀工業(株)、³岡山大・医学部・附属動物実験施設)、「免疫グロブリン遺伝子 knock-in マウスを用いる抗体の親和性成熟機構の解析:RAG 遺伝子産物は関与するか」曲 正樹¹・金山直樹¹・疋田正喜¹・Marilia Cascalho²各氏・大森 齊¹先生(¹岡山大・工学部・生物機能工学、²Dept. Microbiol. Immunol., UCSP, USA)、特別講演(2 題)「上海実験動物科学の進展」王 楠田先生(上海実験動物科学専業委員会会長)、「生体部分肝移植について」清水信義先生(岡山大・医学部・第2 外科)、懇親会。

第38回研究会 平成11年11月24日(水)13:30～メルパルク OKAYAMA 岡山県新技術振興財団後援 特別講演(2 題)「Tg 動物飼育システム STAR 及び STAR/OK の紹介」柳原 茂氏(東洋熱工業(株))、「モンゴル恐竜共同調査 6年間の歩み」鈴木 茂先生(林原自然科学館)、招待講演(1 題)、「最近の家畜ゲノム解析ーブタ MHC クラス II 遺伝子と牛 Mx タンパク質遺伝子」小松正憲先生(農林水産省中国農業試験場畜産部・育種繁殖研究室)、懇親会。

第39回研究会 平成12年7月8日(土)13:30～岡山大学文学部会議室 岡山県新技術振興財団後援 世話役 三谷 恵一先生 一般講演(3 題)「パターンは右視野で視覚走査され、水平線分は垂直線分よりも誘目性が高いー30-30-40msec 行動解析ー」三谷 恵一先生(岡山大大学院・自然科学研究科・文学部)、「四元雑種由来マウスコロニーに出現した骨格異常突然変異の解析」新海雄介氏・河本泰生・国枝哲夫各先生(岡山大・農学部)、「マウス居住性から見た現在市販床敷ベスト10」倉林 譲先生(岡山大・医学部)、特別講演(1 題)「医薬品開発サポート業の現状」金田平八郎氏(梶ラビトン研究所、大阪医薬品臨床開発

研究所)、金田平八郎氏を囲む夕食会(割烹 武蔵)。

第40回研究会 平成12年12月8日(金)13:30～メルパルク OKAYAMA 岡山県産業振興財団(旧岡山県新技術振興財団)後援 特別講演(2 題)「機能性食品業界の最近の動向」井上良計先生(備前化成(株)・研究開発部)、「無視できない線虫の話」香川弘昭先生(岡山大大学院・自然科学研究科・理学部)、記念講演(1 題)「実験動物研究の50年を顧みて」猪 貴義先生(岡山大学名誉教授、本会名誉会員)、懇親会。

第41回研究会 平成13年6月22日(金)13:30～梶原生物化学研究所・藤崎研究所 世話役 栗本雅司所長 一般講演(4 題)「V(D)J 組換え依存性の蛍光標識法による RAG 遺伝子発現細胞の検出と解析」西川恵美子¹・三木貴雄¹・金山直樹¹・疋田正喜^{1,2}各氏・大森 齊先生¹(¹岡山大・工学部、²PRSTO, JST)、「プリオン蛋白ペプチド(PrP106-126)によってラット下垂体由来細胞株 GH3 に誘導される細胞死の形態学および生化学的検討」山下 摂氏^{1,2}・久保正法²・横山 隆²・三浦克洋²各先生(¹元科学技術振興事業団・科技特研究員、²岡山大・農学部、³農林水産省家畜衛生試験場:現特別行政法人動物衛生研究所)、「トレハラーゼノックアウトマウスの作出と表現型解析」平田京子・紙谷隆志・松本修二・有安利夫・新井千加子・京野文代・吉實知代・栗本雅司各先生(梶原生物化学研究所・藤崎研究所)、「これからの動物実験施設を考える」夏目克彦氏(梶夏目制作所)、特別講演(1 題)「多因子疾患原因遺伝子 Positional Cloning への取り組みー肥満・高脂血症・高血糖を支配する遺伝子の解明ー」渡邊 武先生(大塚製薬(株)大塚 GEN 研究所)、見学、懇親会(つしま苑)。

第42回研究会 平成13年11月30日(金)13:00～まきび会館 岡山県産業振興財団後援 賛助会員による講演(1 題)「弊社業務内容案内」菅野史朗氏(ハムリー(株))、特別講演(2 題)「細胞死(アポトーシス)のシグナル伝達機構と生体における役割」酒巻和弘先生(京都大・大学院生命科学研究所)、「がんと免疫」中山 馨一先生(岡山大大学院・歯歯学総合研究科・免疫学)、懇親会。

第43回研究会 平成14年6月7日(金)13:30～重井医学研究所 世話役 内藤一郎先生 一般講演(3 題)「WS4 マウスにおけるエンドセリン B レセプター遺伝子の解析」大谷 真¹・新海雄介¹各氏・松島芳文²・橋 正芳²・国枝哲夫¹各先生(¹岡山大大学院・自然科学研究科、²埼玉県立がんセンター研究所)、「マウスの皮膚反応におけるヒスタミン H3 受容体の関与」ホッセン・マリア氏・杉本幸雄・亀井千晃各先生(岡山大・薬学部・薬物学教室)、「フタホシコロギのフェノール酸化酵素の性状」浅田伸彦¹先生・横山元太¹・帆足梨栄¹・武田美樹¹・野地澄晴²各氏(¹岡山理科大、²徳島大工学部)、賛助会員による講演(1 題)「株式会社ナルクのビーグル生産事業・実験動物受託飼育事業の概要」橋本匡司¹・桜田新一¹・大岩一雄¹・丸山みゆき¹・佐藤尚行²・山崎章弘²・大島誠之助¹各氏(¹梶ナルク、²日本農産工業(株))、特

別講演(1題)「今日の生殖医療の現状と問題点」沖津 摂・三宅 馨各先生(三宅医院IVFセンター)、懇親会。
第44回研究会(創立20周年記念大会) 平成14年11月29日(金)13:30～メルパルクOKAYAMA 日本生物工学会西日本支部協賛 賛助会員による講演(2題)「有限会社山本理化の事業概要」山本義明氏(有山本理化)、「弱酸性次亜塩素水を用いた動物実験施設での衛生管理の可能性 ホルマリン燻蒸に替わる新たな消毒資材としての活用 飼育汚物排水の消毒処理への応用の可能性」山下光治先生(㈱エイチ・エス・ピー)、特別講演(1題)「脳と知覚学習—環境心理学の再出発—」三谷恵一先生(岡山大・文学部・行動科学科心理学教室)、記念講演(1題)「実験動物科学の目覚ましい進歩発展を顧みて、見逃されている大切な問題を考える」今道友則先生((財)動物繁殖研究所名誉理事長・日本獣医生命科学大学名誉教授・日本動物看護学会会長)、懇親会。

第45回研究会 平成15年6月13日(金)13:30～岡山大学文化科学系総合研究棟4階オープンラボラトリーA 多目的スペース 世話役 河田哲典先生 賛助会員による講演(1題)「動物実験製品紹介—医療機器メーカーからの視点から—」平林白一・鴻池将義各氏(泉工医科工業㈱)、一般講演(3題)「ビタミンB12欠乏ラット精巢の組織学的変化の発現に及ぼすメチオニン添加の影響」河田哲典¹・山本祐司²・田所忠弘²・前川昭男²・和田政裕³・田中信夫⁴各先生ら(1岡山大・教育学部、²東京農業大・応用生物、³城西大・薬学部、⁴静風荘病院)、「ラットの睡眠障害モデルの睡眠覚醒サイクルに対する短期間型催眠薬の効果」四宮一昭・重本有紀・藤井陽子各氏・亀井千晃先生(岡山大・薬学部・薬物作用解析学)、「被毛異常突然変異遺伝子(*ypc*)における分子遺伝学的解析 Genetic analysis of the *ypc* mouse with poor coat phenotype」外甚賢太郎¹氏・辻 岳人¹・山本美江²・高野 薫²・小倉淳郎³・松田潤一郎²・国枝哲夫¹各先生(1岡山大大学院・自然科学研究科、²国立感染症研究所、³理化学研究所BRC)、特別講演(1題)「カメムシの飼育と応用に関する最近の話題」安永智秀先生(岡山大・教育学部・動物学研究室)、三谷研究室見学、懇親会(岡山大・ピーチユニオン)。

第46回研究会 平成15年11月28日(金)13:30～ピュアリティまきび 日本生物工学会西日本支部協賛 賛助会員による講演(1題)「実験マウス(ラット局所)用エックス線骨密度/体脂肪測定装置PIXImus2(ピクシマウス)」小西雅久¹・細井 實²各氏(1GE横河メディカルシステム㈱、²㈱メディケアー)、特別講演(1題)「クラレにおける化学物質の有害性評価への取り組み」嶋村三智也氏(㈱クラレ・構造物性研究所)、招待講演(1題)「サルES細胞樹立と再生医療研究への応用」鳥居隆三先生(滋賀医科大・動物生命科学センター)、懇親会。

第47回研究会 平成16年6月25日(金)13:30～川崎医科大学・別館6階大会議室 世話役 辻岡克彦先生 賛助会員による講演(1題)「殺菌と洗

浄について」古本尚希氏(乾商事㈱・医療Iグループ)、一般講演(3題)「ヒト角膜上皮細胞を用いた弱酸性次亜塩素酸水の安全性予備試験の試み」山下光治¹・小野朋子¹・三宅真名¹・那須玄明¹・増田 礎¹各氏・倉林 譲²先生(1㈱エイチ・エス・ピー、²岡山大・自然生命科学研究支援センター動物資源部門)、「クラレにおける培養細胞を用いる化学物質発癌性評価の取り組み」小平和久氏(㈱クラレ・構造物性研究所)、「skeletal fusion with sterility(*sks*)突然変異マウスの分子遺伝学的解析」秋山耕陽¹氏・野口純子²・辻 岳人¹・国枝哲夫¹各先生(1岡山大大学院・自然科学研究科、²(独)農業生物資源研究所)、特別講演(1題)「In vitro と In vivo のはざままで」沖垣 達先生(重井医学研究所名誉所長・本会理事)、懇親会。
第48回研究会 平成16年11月26日(金)13:30～ピュアリティまきび 日本生物工学会西日本支部協賛 一般講演(4題)「ヘアレスマウスを用いた新規アトピー性皮膚炎モデルの開発」田窪美保・津室多栄各氏・亀井千晃先生(岡山大・薬学部・薬物作用解析学)、「TDI点鼻により誘発される鼻閉症状における抗ヒスタミン薬の効果」津室多栄・田窪美保各氏・亀井千晃先生(岡山大・薬学部・薬物作用解析学)、「ニワトリB細胞株を用いたタンパク分子改変システムの構築：変異導入機能のON/OFF制御」藤堂景史・曲正樹・金山直樹各氏・大森 斉各先生(岡山大・工学部・生物機能工学科)、「Hairy ears(*EH*)マウスが持つ染色体逆位の切断点の特定」片山健太郎・宮本沙也佳・古野亜紀各氏・辻 岳人・国枝哲夫各先生(岡山大大学院・自然科学研究科)、特別講演(1題)「軟骨形成不全症モデル動物を用いた長管骨の成長を制御する遺伝子の解析」辻 岳人先生・国枝哲夫先生(岡山大大学院・自然科学研究科)、記念講演(1題)「犬の来た道」田名部雄一先生(岐阜大学名誉教授)、懇親会。

第49回研究会 平成17年6月24日(金)13:30～岡山理科大学創立40周年記念館ホール 世話役 浅田伸彦先生 一般講演(3題)「矮小突然変異(SLW)マウスの原因遺伝子の解析」曾川千鶴氏・辻 岳人・国枝哲夫各先生(岡山大大学院・自然科学研究科)、「末梢B細胞の親和性成熟機構の解析」香山絵美・岡澤貴裕・曲正樹・金山直樹各氏・大森 斉先生(岡山大大学院・自然科学研究科・細胞機能設計学)、「アルミニウム投与による生体内蓄積に関する研究」愛甲博美先生(岡山理科大・理学部)、特別講演(1題)「動物園と動物たち、そして人」赤迫良一氏(㈱池田動物園)、招待講演(1題)「野生由来マウス系統の遺伝的多様性を利用した行動の遺伝学的解析」小出 剛先生(国立遺伝学研究所・マウス開発研究室)、懇親会。

第50回研究会 平成17年12月2日(金)13:30～ピュアリティまきび 日本生物工学会西日本支部協賛 招待講演(1題)「DNA診断で偽装表示と美味しい牛肉を見抜く」万年英之先生(神戸大大学院・自然科学研究科資源生命科学専攻)、記念講演(1題)「実験小動物における全身麻酔」倉林 譲先生(岡山大・自然

生命科学支援センター動物資源部門)、懇親会。

第51回研究会 平成18年6月23日(金)13:30～
ノートルダム清心女子大学・大会議室 世話役
中永征太郎先生・高橋正佑先生 賛助会員による講演
(1題)「小動物用吸入麻酔装置の開発」井上政昭氏
(㈱スカイネット)、一般講演(4題)「実験動物技術師
1級取得の挑戦」小平和久氏(㈱クラレ・構造解析セ
ンター)、「実験動物メダカ自然集団の遺伝的変異」
河田尚子¹・山口佳秀¹・谷川晋一¹各氏・竹内哲郎²・
浅田伸彦¹各先生(¹岡山理科大学・理学部基礎理学科、
²元就実女子大人文学部)、「3分搦米の2型糖尿病自
然発症ラットの血糖値におよぼす影響」泉友美子¹
・浅野史也²・堀野俊郎³各氏・菊永茂司¹先生(¹ノ
ートルダム清心大、²みのる産業㈱、³玄米研究所)、
「局所脳虚血モデルの作成と実験経過」森本尊雅・新
郷哲郎・伊達 勲各先生(岡山大学院・医歯薬学総
合研究科・神経病態外科学)、特別講演(1題)「実験動
物としての盲腸摘出ラットの評価」坂口 英先生(岡
山大学院・自然科学研究科(農学系))、懇親会。

第52回研究会 平成18年12月8日(金)13:30～
ピュアリティまきび 日本生物工学会西日本支部協
賛 特別講演(2題)「実験動物としてのショウジョウ
バエ」百田龍輔先生(岡山大学院・医歯薬学総合研
究科・人体構成学)、「黒色鶏やカラスはなぜ黒い?
～下垂体中葉を欠く鳥類に体色制御の α -MSH調節系
は存在するか～」竹内 栄先生(岡山大学院・自然
科学研究科・理学部)、記念講演(1題)「食物繊維の機
能とエネルギー値」中永征太郎先生(ノートルダム
清心女子大)、懇親会。

第53回研究会 平成19年6月22日(金)13:30～
岡山大学創立50周年記念館・大会議室 世話役 佐
藤・国枝 一般講演(3題)「ラットの学習・記憶のサー
カディアンリズムに関する検討」藤高浩輝・益岡
尚由・三上梓各氏・亀井千晃先生(岡山大学院・医
歯薬学総合研究科・薬効解析)、「マウス卵基底膜
のIV型コラーゲン α 鎖構成」中野和代・内藤一郎・
百田龍輔・大塚愛二各先生(岡山大学院・医歯薬学
総合研究科・人体構成学分野)、「*Limbin* ノックア
ウトマウスが呈する骨形成異常に関する解析」稲本政
隆¹氏・辻 岳人¹・神谷宣広²・竹田晴子³・三品裕
司²・国枝哲夫各先生(¹岡山大学院・自然科学研究
科、²アメリカ国立衛生研究所、³リージュ大獣医
学部)、教育講演(1題)「ナノテクノロジー材料の安全
性問題を認識するために(調査報告)」嶋村三智也氏
(㈱クラレ・くらしき研究所・構造解析グループ)、
特別講演(1題)「倫理的動物実験の実践へ向けて～動
物実験関係者の社会的責任を明確に、具体的に～」
北 徳先生(倉敷芸術科学大・生命動物科学科 非常
勤・元川崎医科大・医用生物センター)、懇親会。

第54回研究会 平成19年12月8日(金)13:30～
ピュアリティまきび 日本生物工学会西日本支部協
賛 特別講演(3題)「コオロギを実験動物とした生物
時計の解析:時計遺伝子 *period* のリズム発現機構に
おける機能解析」富岡憲治先生(岡山大学院・自然

科学研究科・バイオサイエンス専攻)、「性決定機構・
性判別の研究から出発して～マウス、トゲネズミ、
ウシ等に関するトピックス～」須藤鎮世先生(就実
大薬学部・遺伝子解析学)、「糖尿病性壊疽に対する
マゴットセラピーの可能性」三井秀也先生(岡山大
大学院・医歯薬学総合研究科・心臓外科 講師)、懇
親会。

第55回研究会 平成20年6月27日(金)13:30～
IPU・環太平洋大学第1キャンパス・大講義室2 ペ
ガサスキャンドル㈱協賛 世話役 三谷恵一先生
特別講演(3題)、「視覚の遺伝学」佐藤忠文先生(環太
平洋大・次世代教育学部)、「休耕田を利用したアユ
モドキの保全活動」青 雅一先生(NPO 法人岡山淡水
魚研究会)、「瀬戸町におけるアユモドキの生態調査」
阿部 司氏(岡山大学院・自然科学研究科 学振特別
研究員)、シンポジウム「アユモドキ・・・絶滅させ
てはならない郷土の宝物」企画・司会 青 雅司先生
(国立病院機構岩国医療センター部長・NPO 法人岡山
淡水魚研究会 理事長)(4題)「瀬戸町におけるアユ
モドキ産卵場所の発見まで」小林一郎氏(NPO 法人岡
山淡水魚研究会 理事)、「岡山市の天然記念物アユモ
ドキの保護・保全啓発の取組」岡本芳明氏(岡山市教
育委員会文化財課 主任)、「アユモドキ生息のための
障害」阿部 司氏(岡山大学院・自然科学研究科 学
振特別研究員)、「その他の取り組みと後継者育成」
青雅一先生(NPO 法人岡山淡水魚研究会 理事長)、懇
親パーティ。

第56回研究会 平成20年11月21日(金)13:30～
ピュアリティまきび 日本生物工学会西日本支部協
賛 特別講演(2題)「岡山大学自然生命科学研究支援
センター動物資源部門鹿田施設の管理・運営の実際
～動物実験施設の管理・運営改革2年間を振り返っ
て」樺木勝巳先生(岡山大・自然生命科学研究支援セ
ンター動物資源部門)、「マメジカの生理学的特性」
福田勝洋先生(岡山理科大学・理学部)、記念講演(1題)
「岡山大学農学部家畜育種学教室におけるマウスと
ウズラの研究紹介」佐藤勝紀(岡山大学院・自然科
学研究科)、懇親会。

第57回研究会 平成21年7月10日(金)13:30～
岡山大学工学部6号館12番講義室 世話役 大森
斉先生 特別講演(1題)「線虫 *C. elegans* の遺伝
子と遺伝子の虫」香川弘昭先生(岡山大学名誉教授・
理学部)、一般講演(5題)「消化管での糖の吸収メカ
ニズムと消化管内の流れの関係」高橋 徹先生(美作
大学院)、「IL-21の抗体の親和性成熟における新規
な役割:ノックアウトマウスを用いた解析」藤井康
正・西尾祐美・西川裕美子・金山直樹・曲 正樹各氏・
大森 斉先生(岡山大学院・自然科学研究科・細胞
機能設計学)、「マウスの皮膚ならびに鼻アレルギー
モデルに対するプロポリスの影響」神名祥史・矢野
春奈・香川陽人各氏・亀井千晃先生(岡山大薬学部・
薬効解析)、「高脂肪食がALS系マウスの体重ならび
に糖尿病病態に及ぼす影響」周 薇氏・国枝哲夫先
生・佐藤勝紀(岡山大学院・自然科学研究科)、「精

子形成が減数分裂第一分裂前期で停止する ENU 誘発突然変異 *repro23* マウスの解析」浅野友香¹氏・野口純子²・秋山耕陽¹・辻 岳人¹・国枝哲夫¹各先生¹岡山大学大学院・自然科学研究科、² (独)農業生物資源研究所)、懇親会。

第58回研究会 平成21年11月27日(金)13:30～ピュアリティまきび 日本生物工学会西日本支部協賛 特別講演(2題)「DNA 検査の利用と事例紹介」米田一裕氏((有)米田遺伝子型研究所)、「日本鶏における形態的および遺伝的多様性ならびにその利用」都築政起先生(広島大学大学院・生物圏科学研究科・家畜育種遺伝学研究室)、記念講演(1題)「花粉症と抗アレルギー薬の話」亀井千晃先生(岡山大学大学院・歯歯薬学総合研究科)、懇親会。

第59回研究会 平成22年7月2日(金)13:30～岡山大学理学部1号館21番講義室 世話役 高橋純夫先生・竹内 栄先生 一般講演(2題)「マウス精巣において TMEM48/NDC1 と相互作用するタンパク質の探索」梶田晋平・秋山耕陽各氏・辻 岳人・国枝哲夫各先生(岡山大学大学院・自然科学研究科)、「ラット脂質代謝に及ぼすトウガラシの効果」中村 翔・三宅数子・真鍋芳江各氏・森脇晃義先生(中国学園大学大学院・現代生活科学研究科)、特別講演(3題)「スunks(ジャコウネズミ)の実験動物化とその特性—とくに低温不耐性について—」織田銃一先生(岡山理科大学・理学部動物学科)、「川崎医科大・医用生物センターにおける管理運営の現状～微生物制御、衛生管理を中心として～」井上真理子氏(川崎医科大・医用生物センター)、「両生類のように人間は再生できるようになるのか?」佐藤 伸先生(岡山大・異分野融合先端研究コア RCIS)、懇親会。

第60回研究会 平成22年11月27日(金)13:30～ピュアリティまきび 日本生物工学会西日本支部協賛 賛助会員による講演(1題)「マイナスイオンの効能効果とマイナスイオン発生器(オーリラ)の開発と試験について」長澤 通氏(㈱GSD 代表取締役)、特別講演(3題)「実験動物としてのウズラの有用性」高橋慎司・清水 明・川嶋貴治各先生(国立環境研究所・環境研究基盤技術ラボラトリー生物資源研究室)「岡山理科大学理学部動物学科における動物資源」城ヶ原貴通先生(岡山理科大学理学部・動物学科)、「社会性昆虫における繁殖システムと役割分業の制御機構」松浦健二先生(岡山大学大学院・環境学研究科・昆虫生態学研究室・農学部)、懇親会。

第61回研究会 平成23年7月1日(金)13:30～岡山理科大学第十学舎5階11052教室 世話役 福田勝洋先生・浅田伸彦先生 賛助会員による講演(1題)「最新の実験動物用マイクロX線CT装置～R_mCT2製品紹介」濱中 功¹・細井 實²各氏¹(㈱リガク NDI イメージング事業部、²㈱メディケアー・代表取締役)、一般講演(1題)「マウスにおける亜種間雑種の雄性生殖細胞に生じた減数分裂の異常の解析」西野里沙子氏・辻 岳人・国枝哲夫各先生(岡山大学大学院・自然科学研究科)、特別講演(2題)「(社)日動協の実験

動物技術者認定制度の概要と今後の展望」大和田一雄先生((社)日動協・認定専門委員会委員長、山形大医学部、(独)産業技術総合研究所研究環境安全本部)、「ナメクジウオ奮闘記—頭索動物ナメクジウオの飼育と研究—」安井金也先生(広島大学大学院・理学研究科・生物科学専攻)、懇親会。

第62回研究会 平成23年11月25日(金)1:30～ピュアリティまきび 日本生物工学会西日本支部協賛 賛助会員による講演(1題)「動物実験施設等における脱臭・除菌を目的とした光触媒技術の応用」高岡 秀氏(昭和セラミックス(株)、特別講演(2題)「植物培養細胞を活用して基礎研究と産学連携研究を追求して」濱田博喜先生(岡山理科大学・理学部臨床生命科学研究科・教授)、「実験動物と動物実験について今思うこと」西川 哲氏((独)放射線医学総合研究所・研究基盤センター)、岡山実験動物研究会名誉会員(倉林 譲先生)の授与・表彰式、懇親会。

第63回研究会 平成24年6月29日(金)13:30～岡山大学教育学部本館407号室 世話役 河田哲典先生 一般講演(6題)「スunksにおけるスクラ—ゼ活性有無によるスクロースの嗜好性と摂取の影響」小田千寿江氏・城ヶ原貴通・織田銃一各先生(岡山理科大学・理学部)、「草食性小型哺乳類の餌資源利用戦略—とくにロシアハタネズミのVFA 利用性について—」平井 洸次氏・城ヶ原貴通・織田銃一各先生(岡山理科大学・理学部・動物)、「パルバの低温耐性に関する研究—とくに日内休眠とUCP1について—」小林淳宏氏¹、城ヶ原貴通先生¹、子安和宏²、Orin B. Mock³各氏、織田銃一先生¹ (¹岡山理科大学・理学部・動物、²愛知学院大・歯・解剖、³KCOM)、「酸化ストレスにより発症するアカタラセミアマウスにおける糖尿病について」上村若菜¹、藤原悠基²、松岡伸児²、前田あやみ¹、竹本和憲²各氏、織田銃一¹・益岡典芳¹各先生 (¹岡山理科大学大学院・理学研究科、²岡山理科大学・理学部)、「アマミトグネズミの24時間行動観察」望月春佳氏、城ヶ原貴通先生、山田文雄氏(岡山理科大学・理学部・動物)、「アマミトグネズミの野外調査(生息密度と行動範囲の推定)」城ヶ原貴通先生¹、山田文雄²、越本知大³、木戸文香⁴、望月春佳¹、塩野崎和美⁵、黒岩麻里⁴各氏 (¹岡山理科大学、²森林総研、³宮崎大、⁴北海道大院、⁵京都大院)、特別講演(2題)「脊髄を介するグレリンの大腸運動促進作用」平山晴子先生(岡山大・自然生命科学研究支援センター・動物資源部門)、「物質輸送における細胞間連携の重要性:心臓組織および内耳血管条組織を例として」安藤元紀先生(岡山大学大学院・教育学研究科)、懇親会。

第64回研究会(創立30周年記念大会) 平成24年11月30日(金)13:30～ピュアリティまきび 日本生物工学会西日本支部協賛 記念写真撮影、特別講演(1題)「岡山実験動物研究会30年のあゆみ」佐藤勝紀(岡山大学・農学部、本会名誉会員)、招待講演(1題)「実験用ラット研究の進展」芹川忠夫先生(京都大学大学院・医学研究科附属動物実験施設・教授)、

記念講演「安全の科学とリスクコミュニケーション」
唐木英明先生(倉敷芸術科学大学・学長)、岡山実験
動物研究会名誉会員(三谷恵一先生)の授与・表彰
(2013年1月)の紹介、懇親会。

記念講演

- 実験動物と私達 矢部芳郎教授(岡山大・医学部)
第26回研究会 平成5年12月17日
- 動物としての細胞 田坂賢二教授(岡山大・薬学
部) 第26回研究会 平成5年12月17日
- ライフサイエンスの展開と実験動物 猪 貴義先
生(岡山大学名誉教授・日本実験動物協会副会長)
第34回研究会(創立15周年記念大会) 平成9年11
月28日
- 内分泌攪乱物質(環境ホルモン)の何が問題か 井
口泰泉先生(横浜市立大学・理学部、現岡崎国立共
同) 第36回研究会 平成10年11月27日
- 最近の家畜ゲノム解析—ブタ MHC クラスII 遺伝子
と牛 Mx タンパク質遺伝子 小松正憲先生(農林水
産省中国農業試験場畜産部・育種繁殖研究室) 第
38回研究会 平成11年11月24日
- 実験動物研究の50年を顧みて 猪 貴義先生(岡山
大学名誉教授、本会名誉会員) 第40回研究会 平
成12年12月8日
- 実験動物科学の目覚ましい進歩発展を顧みて、見
逃されている大切な問題を考える 今道友則先生
(財)動物繁殖研究所名誉理事長・日本獣医生命科
学大学名誉教授・日本動物看護学会会長) 第44回
研究会 平成14年11月29日
- 犬の来た道 田名部雄一先生(岐阜大学名誉教授)
第48回研究会 平成16年11月26日
- 実験小動物における全身麻酔 倉林 護先生(岡山
大・自然生命科学研究支援センター動物資源部門)
第50回研究会 平成17年12月2日
- 食物繊維の機能とエネルギー値 中永征太郎先生
(ノートルダム清心女子大) 第52回研究会 平成
18年12月8日
- 岡山大学農学部家畜育種学教室におけるマウスと
ウズラの研究紹介 佐藤勝紀(岡山大大学院・自然
科学研究科) 第56回研究会 平成20年11月21日
- 花粉症と抗アレルギー薬の話 亀井千晃先生(岡
山大大学院・歯歯薬学総合研究科) 第58回研究会
平成21年11月27日
- 安全の科学とリスクコミュニケーション 唐木英
明先生(倉敷芸術科学大学・学長) 第64回研究会
平成24年11月30日

招待講演

- モンゴル・ゴビ砂漠における恐竜調査 石井健一
教授(近畿大・榊原自然科学博物館 準備室長)
第26回研究会 平成5年12月17日
- ケージサイズについて考える 佐藤徳光先生(新
潟大・医学部・附属動物実験施設) 第28回研究

会 平成6年12月2日

- サルES細胞樹立と再生医療研究への応用 鳥居隆
三先生(滋賀医科大・動物生命科学研究センター)
第46回研究会 平成15年11月28日
- 野生由来マウス系統の遺伝的多様性を利用した行
動の遺伝学的解析 小出 剛先生(国立遺伝学研究
所・マウス開発研究室) 第49回研究会 平成17年
6月24日
- DNA診断で偽装表示と美味しい牛肉を見抜く 万
年英之先生(神戸大大学院・自然科学研究科資源生
命科学専攻) 第50回研究会 平成17年12月2日
- 実験用ラット研究の進展 芹川忠夫先生(京大
大学院・医学研究科附属動物実験施設・教授) 第
64回研究会 平成24年11月30日

特別講演

- 実験動物における発生のひずみの技法別研究法
永井 廣教授(岡山大歯学部) 第1回研究会 昭和
57年12月7日
- 哺乳動物による変異原性試験 土川 清先生(国立
遺伝研究所・静岡実験動物研究会会長) 第2回研
究会 昭和58年4月30日
- 実験動物研究における最近の話題 猪 貴義先生
(岡山大農学部) 第2回研究会昭和58年4月30日
- 哺乳類発生学の基礎と応用 館 鄰先生(東大・理
学部)、第3回研究会 昭和58年9月30日
- 林原生物化学研究所の概要 栗本雅司先生(榊林
原生物化学研究所・藤崎研究所長) 第4回研究会
昭和58年12月3日
- 実験動物の開発—特にその遺伝学的手法について
永井次郎先生(カナダ農商務省研究所・部長) 第4
回研究会 昭和58年12月3日
- 先天異常に関する動物データの解釈—とくにヒト
への外挿 西村秀雄先生(京都大学名誉教授) 第5
回研究会 昭和59年5月19日
- Genetic engineering in Destiny Harold M.
Slavkin 教授(南カリフォルニア大学) 第5回研究
会 昭和59年5月19日
- 動物実験と私 小川勝士教授(岡山大・医学部・病
理学教室)、第6回研究会 昭和59年12月8日
- New inbred and congenic strains mice developed
for biomedical research in Poland] Dr. Alina
Czarnomska (ポーランド・ワルシャワ癌研究所) 臨
時特別講演会 昭和60年11月5日
- 実験動物とのつき合い 妹尾左知丸先生(重井医
学研究所所長) 第11回研究会昭和61年9月13日
- 原爆放射線がもたらした災害—レントゲンからチ
ェルノブイリまで 阿波章夫先生(広島放射線影
響研究所・遺伝学部長) 第11回研究会 昭和61年
9月13日
- 実験動物における Genetic Monitoring の意義と
役割 山田淳三教授(京大・医学部) 第12回研
究会 昭和61年12月6日
- 動物の行動に関する記憶の機制 平野俊二先生

- (京都大・文学部) 第 15 回研究会 昭和 62 年 12 月 5 日
- 哺乳類中枢神経系の発生と分化 御子柴克彦先生 (大阪大・蛋白質研究所) 第 15 回研究会 昭和 62 年 12 月 5 日
 - 実験動物における発生工学の進歩 豊田 裕先生 (東京大・医科学研究所)、第 15 回研究会 昭和 62 年 12 月 5 日
 - 動物実験に影響する諸要因とその制御 後藤信男教授 (神戸大農学部) 第 16 回研究会 昭和 63 年 5 月 28 日
 - 咀嚼システムにおける感覚入力の影響 窪田全次郎先生 (東京医科歯科大学名誉教授) 第 17 回研究会 昭和 63 年 12 月 10 日
 - Basic research in teratology Dr. G. H. Schumacher (Rostock University, Professor) 第 17 回研究会 昭和 63 年 12 月 10 日
 - 実験動物としてみた節足動物 山口恒夫教授 (岡山大・理学部) 第 18 回研究会 平成元年 12 月 2 日
 - 実験動物としてのショウジョウバエ 浅田伸彦先生 (岡山理科大・理学部) 第 18 回研究会 平成元年 12 月 2 日
 - バイオテクノロジーの応用による新しい実験動物の開発 東條英昭先生 (富山医科薬科大)、第 18 回研究会 平成元年 12 月 2 日
 - 動物実験における腎症候性出血熱の発生と終息 山之内孝尚先生 (元大阪大・微生物研究所 教授) 第 20 回研究会 平成 2 年 12 月 1 日
 - 神経細胞の雑種形成 石井一宏先生 (京都大・ウイルス研究所) 第 20 回研究会 平成 2 年 12 月 1 日
 - アセチルコリンおよびヒスタミン吸入に対する気道感受性を異にするモルモット 2 系統の選抜育種 三上博輝先生 (日本臓器株・生物活性科学研究所) 第 20 回研究会 平成 2 年 12 月 1 日
 - 癌と動物 栗本雅司先生 (榊原生物化学研究所・藤崎研究所)、第 21 回研究会 平成 3 年 7 月 12 日
 - 岡山の自然と生物 三枝誠行先生 (岡山大・教養部)、第 21 回研究会 平成 3 年 7 月 12 日
 - 動物の子育てについて 福本幸夫先生 (広島市安佐動物公園)、第 22 回研究会 平成 3 年 11 月 30 日
 - 今注目をあびている実験動物“スunks”について 松本則夫先生 (東京大・薬学部)、第 22 回研究会 平成 3 年 11 月 30 日
 - ヒト疾患モデル動物の開発 猪 貴義教授 (岡山大・農学部)、第 22 回研究会 平成 3 年 11 月 30 日
 - 哺乳動物初期胚の凍結保存と体外受精 野上奥志郎先生 (岡山県総合畜産センター・専門研究員) 第 22 回研究会 平成 4 年 6 月 20 日
 - 薬効開発と疾患モデル動物 新井成之先生 (榊原生物化学研究所・藤崎研究所) 第 22 回研究会 平成 4 年 6 月 20 日
 - 医学・生物学における先端技術としての放射線利用 大原 弘教授 (岡山大・教養部) 第 24 回研究会 平成 4 年 12 月 4 日
 - がんと免疫 中山睿一教授 (岡山大・医学部)、第 24 回研究会 平成 4 年 12 月 4 日
 - 環境の発がん物質に対するヒト曝露の研究 早津彦哉教授 (岡山大・薬学部) 第 24 回研究会 平成 4 年 12 月 4 日
 - 動物におけるシートからの形づくり 本多久夫先生 (新技術事業団・古里再生機構プロジェクト) 第 25 回研究会 平成 5 年 6 月 18 日
 - 内分泌細胞における細胞増殖の調節 高橋純夫先生 (岡山大・理学部) 第 27 回研究会 平成 6 年 6 月 25 日
 - 実験動物とワクチンの品質管理 小野耕一先生 ((財) 阪大微生物研究会) 第 28 回研究会 平成 6 年 12 月 2 日
 - 遺伝子ノックアウトマウス作製と免疫応答解析への応用 高井俊行先生 (岡山大・工学部) 第 28 回研究会 平成 6 年 12 月 2 日
 - 抗がん剤誘発脱毛モデル動物の作成と脱毛抑制剤 高畑京也先生 (岡山大・農学部) 第 29 回研究会 平成 7 年 7 月 1 日
 - 家庭を取り巻く害虫 三宅 忠氏 (岡山ペストコントロール協会) 第 30 回研究会 平成 7 年 12 月 1 日
 - ゴキブリよもやま話 西村 昭先生 (アース製薬株・研究顧問)、第 30 回研究会 平成 7 年 12 月 1 日
 - 動物睡眠一防衛行動としての死んだふり 酒井正樹先生 (岡山大・理学部)、第 30 回研究会 平成 7 年 12 月 1 日
 - 細胞ガン化の機構 清水憲二教授 (岡山大・医学部) 第 30 回研究会 平成 7 年 12 月 1 日
 - 広島大学医学部附属動物実験施設の紹介と実験動物の眼検査について 古川敏紀先生 (広島大・医学部・附属動物実験施設) 第 31 回研究会 平成 8 年 6 月 29 日
 - 大型ウサギの実験動物化に関する研究 松田幸久先生 (秋田大・医学部・附属動物実験施設) 第 32 回研究会 平成 8 年 11 月 29 日
 - コラーゲン遺伝子改変と動物疾患モデル 二宮義文教授 (岡山大・医学部) 第 32 回研究会 平成 8 年 11 月 29 日
 - マスト細胞分化異常動物 北村幸彦教授 (大阪大・医学部) 第 32 回研究会 平成 8 年 11 月 29 日
 - Recent cytogenetic investigation in livestock in Europe—an overall view Dr. Gerald Stranzinger (Swiss Federal Institute of Technology, Professor) 特別講演会 平成 9 年 3 月 6 日
 - ヒト Wilson 病モデル、肝癌モデル、免疫不全モデルとしての LEC ラット 松本耕三先生 (徳島大・医学部・附属動物実験施設) 第 33 回研究会 平成 9 年 7 月 12 日
 - 疾患モデル動物の開発とその応用 菊池建機先生 (国立精神・神経センター・モデル動物開発部・部長) 第 34 回研究会 (創立 15 周年記念大会) 平成 9 年 11 月 28 日

- 癌の遺伝子治療 田中紀章教授(岡山大・医学部・第一外科) 第34回研究会(創立15周年記念大会) 平成9年11月28日
- 薬物依存形成における diazepam binding inhibitor (DBI) の役割」大熊誠太郎・桂昌司各先生(川崎医科大・薬理学教室) 第35回研究会 平成10年7月18日
- 両生類の経皮的水分摂取機構と陸上適応 上島孝久先生(岡山大・教育学部) 第36回研究会 平成10年11月27日
- 骨粗鬆症疾患モデルとその評価について 西崎泰司先生(柳井原生物化学研究所・藤崎研究所) 第36回研究会 平成10年11月27日
- 上海実験動物科学の進展 王楠田先生(上海実験動物科学專業委員会会長) 第37回研究会 平成11年5月26日
- 国内初の生体部分肝移植について 清水信義先生(岡山大・医学部・第2外科) 第37回研究会 平成11年5月26日
- Tg 動物飼育システム STAR 及び STAR/OK の紹介 柳原 茂氏(東洋熱工業株) 第38回研究会 平成11年11月24日
- モンゴル恐竜共同調査6年間の歩み 鈴木 茂先生(林原自然科学館) 第38回研究会 平成11年11月24日
- 医薬品開発サポート業の現状 金田平八郎氏(柳ラビトン研究所、大阪医薬品臨床開発研究所) 第39回研究会 平成12年7月8日
- 機能性食品業界の最近の動向 井上良計先生(備前化成株・研究開発部) 第40回研究会 平成12年12月8日
- 無視できない線虫の話 香川弘昭先生(岡山大大学院・自然科学研究科・理学部)、第40回研究会 平成12年12月8日
- 多因子疾患原因遺伝子 Positional Cloning への取り組みー肥満・高脂血症・高血糖を支配する遺伝子の解明ー 渡邊 武先生(大塚製薬株) 大塚 GEN 研究所) 第41回研究会 平成13年6月22日
- 細胞死(アポトーシス)のシグナル伝達機構と生体における役割 酒巻和弘先生(京都大・大学院生命科学研究所) 第42回研究会 平成13年11月30日
- がんと免疫 中山睿一先生(岡山大大学院・医歯学総合研究科・免疫学) 第42回研究会 平成13年11月30日
- 今日の生殖医療の現状と問題点 沖津 撰・三宅馨各先生(三宅医院 IVF センター) 第43回研究会 平成14年6月7日
- 脳と知覚学習ー環境心理学の再出発ー 三谷恵一先生(岡山大・文学部・行動科学科心理学教室) 第44回研究会 平成14年11月29日
- カメムシの飼育と応用に関する最近の話題 安永智秀先生(岡山大・教育学部・動物学研究室) 第45回研究会 平成15年6月13日
- クラレにおける化学物質の有害性評価への取り組み 嶋村三智也氏(柳クラレ・構造物性研究所) 第46回研究会 平成15年11月28日
- In vitro と In vivo のはざままで 沖垣 達先生(重井医学研究所名誉所長・本会理事) 第47研究会 平成16年6月25日
- 軟骨形成不全症モデル動物を用いた長管骨の成長を制御する遺伝子の解析 辻 岳人先生・国枝哲夫先生(岡山大大学院・自然科学研究科) 第48回研究会 平成16年11月26日
- 動物園と動物たち、そして人 赤迫良一氏(柳池田動物園) 第49回研究会 平成17年6月24日
- 実験動物としての盲腸摘出ラットの評価 坂口英先生(岡山大大学院・自然科学研究科(農学系)) 第51回研究会 平成18年6月23日
- 実験動物としてのショウジョウバエ 百田龍輔先生(岡山大大学院・医歯薬学総合研究科・人体構成学) 第52回研究会 平成18年12月8日
- 黒色鶏やカラスはなぜ黒い? ~下垂体中葉を欠く鳥類に体色制御の α -MSH 調節系は存在するか~」竹内 栄先生(岡山大・大学院自然科学研究科・理学部) 第52回研究会 平成18年12月8日
- 倫理的動物実験の実践へ向けて~動物実験関係者の社会的責任を明確に、具体的に~」北 徳先生(倉敷芸術科学大・生命動物科学科 非常勤・元川崎医科大・医用生物センター) 第53回研究会 平成19年6月22日
- コロロギを実験動物とした生物時計の解析: 時計遺伝子 *period* のリズム発現機構における機能解析」富岡憲治先生(岡山大大学院・自然科学研究科・バイオサイエンス専攻) 第54回研究会 平成19年12月8日
- 性決定機構・性判別の研究から出発して~マウス、トゲネズミ、ウシ等に関するトピックス~ 須藤鎮世先生(就実大薬学部・遺伝子解析学) 第54回研究会 平成19年12月8日
- 糖尿病性壊疽に対するマゴットセラピーの可能性 三井秀也先生(岡山大大学院・医歯薬学総合研究科・心臓外科 講師) 第54回研究会 平成19年12月8日
- 視覚の遺伝学 佐藤忠文先生(環太平洋大・次世代教育学部) 第55回研究会 平成20年6月27日
- 休耕田を利用したアユモドキの保全活動 青 雅一先生(NPO 法人岡山淡水魚研究会) 第55回研究会 平成20年6月27日
- 瀬戸町におけるアユモドキの生態調査 阿部 司氏(岡山大大学院・自然科学研究科 学振特別研究員) 第55回研究会 平成20年6月27日
- 岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門鹿田施設の管理・運営の実際ー動物実験施設の管理・運営改革2年間を振り返って」樺木勝巳先生(岡山大・自然生命科学研究支援センター動物資源部門) 第56回研究会 平成20年11月21日
- マメジカの生理学的特性 福田勝洋先生(岡山理科大・理学部) 第56回研究会 平成20年11月21日

- 線虫 *C. エレガンス* の遺伝子と遺伝子の虫 香川弘昭先生(岡山大学名誉教授・理学部) 第57回研究会 平成21年7月10日
 - DNA検査の利用と事例紹介 米田一裕氏((有)米田遺伝子型研究所) 第58回研究会 平成21年11月27日
 - 日本鶏における形態的および遺伝的多様性ならびにその利用 都築政起先生(広島大大学院・生物圏科学研究所・家畜育種遺伝学研究室) 第58回研究会 平成21年11月27日
 - スルクス(ジャコウネズミ)の実験動物化とその特性—とくに低温不耐性について— 織田銃一先生(岡山理科大・理学部動物学科) 第59回研究会 平成22年7月2日
 - 川崎医科大学医用生物センターにおける管理運営の現状～微生物制御、衛生管理を中心として～ 井上真理子氏(川崎医科大・医用生物センター) 第59回研究会 平成22年7月2日
 - 両生類のように人間は再生できるようになるのか? 佐藤伸先生(岡山大・異分野融合先端研究コア RCIS) 第59回研究会 平成22年7月2日
 - 実験動物としてのウズラの有用性 高橋慎司・清水明・川嶋貴治各先生(国立環境研究所・環境研究基盤技術ラボラトリー生物資源研究室) 第60回研究会 平成22年11月27日
 - 岡山理科大学理学部動物学科における動物資源 城ヶ原貴通先生(岡山理科大学理学部・動物学科) 第60回研究会 平成22年11月27日
 - 社会性昆虫における繁殖システムと役割分業の制御機構 松浦健二先生(岡山大大学院・環境学研究所・昆虫生態学研究室・農学部) 第60回研究会 平成22年11月27日
 - (社)日動協の実験動物技術者認定制度の概要と今後の展望 大和田一雄先生((社)日動協・認定専門委員会委員長、山形大医学部、(独)産業技術総合研究所研究環境安全本部) 第61回研究会 平成23年7月1日
 - サメクジウオ奮闘記—頭索動物ナメクジウオの飼育と研究— 安井金也先生(広島大大学院・理学研究所・生物科学専攻) 第61回研究会 平成23年7月1日
 - 植物培養細胞を活用して基礎研究と産学連携研究を追求して 濱田博喜先生(岡山理科大・理学部臨床生命科学科・教授) 第62回研究会 平成23年11月25日
 - 実験動物と動物実験について今思うこと 西川哲氏((独)放射線医学総合研究所・研究基盤センター) 第62回研究会 平成23年11月25日
 - 脊髄を介するグレリンの大腸運動促進作用 平山晴子先生(岡山大・自然生命科学研究支援センター動物資源部門) 第63回研究会 平成24年6月29日
 - 物質輸送における細胞間連携の重要性:心臓組織および内耳血管条組織を例として 安藤元紀先生(岡山大大学院・教育学研究科) 第63回研究会 平成24年6月29日
 - 岡山実験動物研究会30年のあゆみ 佐藤勝紀(岡山大学・農学部・本会名誉会員) 第64回研究会(創立30周年記念大会) 平成24年11月30日
- 話題提供・賛助会員による講演**
- 最近の実験動物の開発と設備、施設に関する話題「MCH動物の開発」 田中福志氏(日本クレア)・斎藤宗雄・吉村幸夫各先生(実中研)「バイオハザード対策の設備及び施設計画」 堀田勝氏(日本クレア) 第11回研究会 昭和61年9月13日 話題提供2題
 - Tg動物飼育用ラック「ルフテンTg」の開発 斎藤正信¹・大城匡豊¹・銀一之²・橋詰俊雄²各氏・倉林謙³先生(¹大気社、²白銀工業㈱、³岡山大・医学部・附属動物実験施設) 第37回研究会 平成11年5月26日 一般講演
 - Tg動物飼育システムSTAR及びSTAR/OKの紹介 柳原茂氏(東洋熱工業㈱) 第38回研究会 平成11年11月24日 特別講演
 - 医薬品開発サポート業の現状 金田平八郎氏(㈱ラビトン研究所、大阪医薬品臨床開発研究所) 第39回研究会 平成12年7月8日 特別講演
 - これからの動物実験施設を考える 夏目克彦氏(㈱夏目制作所) 第41回研究会 平成13年6月22日 一般講演
 - 弊社業務内容案内 菅野史朗氏(ハムリー㈱)、第42回研究会 平成13年11月30日
 - 株式会社ナルクのビーグル生産事業・実験動物受託飼育事業の概要 橋本匡司¹・桜田新一¹・大岩一雄¹・丸山みゆき¹・佐藤尚行²・山崎章弘²・大島誠之助¹各氏(¹㈱ナルク、²日本農産工業㈱)、第43回研究会 平成14年6月7日
 - 有限会社山本理化の事業概要 山本義明氏((有)山本理化) 第44回研究会 平成14年11月29日
 - 弱酸性次亜塩素水を用いた動物実験施設での衛生管理の可能性 ホルマリン燻蒸に替わる新たな消毒資材としての活用 飼育汚物排水の消毒処理への応用の可能性 山下光治先生(㈱エイチ・エス・ピー) 第44回研究会 平成14年11月29日
 - 動物実験製品紹介—医療機器メーカーからの視点から— 平林白一・鴻池将義各氏(泉工医科工業㈱) 第45回研究会 平成15年6月13日
 - 実験マウス(ラット局所)用エックス線骨密度/体脂肪測定装置PIXImus2(ピクシマウス) 小西雅久¹・細井實²各氏(¹GE横河メディカルシステム㈱、²㈱メディケア) 第46回研究会 平成15年11月28日
 - 殺菌と洗浄について 古本尚希氏(乾商事㈱・医療Iグループ) 第47回研究会 平成16年6月25日
 - 小動物用吸入麻酔装置の開発 井上政昭氏(㈱スカイネット) 第51回研究会 平成18年6月23日
 - マイナスイオンの効能効果とマイナスイオン発生

- 器(オーリラ)の開発と試験について 長澤 通氏
(㈱GSD 代表取締役) 第60回研究会 平成22年
11月27日
- 最新の実験動物用マイクロX線CT装置~R_mCT2
製品紹介 濱中 功¹・細井 實²各氏 (¹㈱リガク
NDT イメージング事業部、²㈱メディケアー・代表
取締役) 第61回研究会 平成23年7月1日
- 動物実験施設等における脱臭・除菌を目的とした
光触媒技術の応用 高岡 秀氏(昭和セラミックス
(株)) 第62回研究会 平成23年11月25日

教育講演

- ナノテクノロジー材料の安全性問題を認識するた
めに(調査報告) 嶋村三智也氏(㈱クラレ・くらしき
研究所・構造解析グループ) 第53回研究会 平成
19年6月22日

フォーラム

- 「生物のかたち作りの謎をとくー発生工学への道」
記念講演 Nicole M. LeDouarin(ニコル・M・ルド
ワラン)教授: フランス科学振興発生物学研究所所長
賛助講演「細胞をよりわかる分子と動物のかたち作
り」 竹市俊雅教授(京大・理学部) 第13回研究会
昭和62年3月30日

交見会

- テーマ1
「動物実験施設中央化の得失」
テーマ2
「動物実験における研究者と技術者の役割分担」 第
8回研究会 昭和60年9月28日

シンポジウム

- 「実験動物の飼育・手技・管理・購入における問題
点」(6題): 第6回研究会 昭和59年12月8日
- 新薬開発における動物実験の問題点 亀井千晃
先生(岡山大・薬学部)
- 中央動物実験施設運営における人間の意識調査の
問題について 北 徳先生(川崎医大・実験動物飼
育センター)
- 岡大医学部附属動物実験施設における管理運営上
の問題点とその対策について 倉林 讓先生(岡山
大・医学部・動物実験施設)

- ハムスター新生児の胸腺摘出と問題点 元田龍一
先生(㈱林原生物化学研究所)
- 重井医学研究所動物実験室の現状と問題点 内藤
一郎先生(重井医学研究所)
- 岡山大学農学部における実験動物の飼育管理の問
題点 佐藤勝紀(岡山大・農学部)
「動物の集団をどのようにとらえるか」(3題): 第
10回研究会 昭和61年5月10日
- 昆虫の集団 吉田敏治先生(岡山大・農学部)
- 動物集団の行動についての一解析 渡辺宗孝先生
(岡山大・教養部)
- 実験動物における社会構造と密度効果 河本泰生
先生(岡山大・農学部)、
「アユモドキ・・・絶滅させてはならない郷土の宝
物」(4題): 第55回研究会 平成20年6月27日
企画・司会 青 雅司先生(国立病院機構岩国医療
センター部長・NPO 法人岡山淡水魚研究会理事長)
- 瀬戸町におけるアユモドキ産卵場所の発見まで
小林一郎氏(NPO 法人岡山淡水魚研究会 理事)
- 岡山市の天然記念物アユモドキの保護・保全啓発
の取組 岡本芳明氏(岡山市教育委員会文化財課)、
- アユモドキ生息のための障害 阿部 司氏(岡山大
大学院・自然科学研究科 学振特別研究員)、
- その他の取り組みと後継者育成 青 雅一先生
(NPO 法人岡山淡水魚研究会 理事長)

見学

- ㈱林原生物化学研究所・藤崎研究所 第4回研究
会 昭和58年12月3日
- ㈱林原生物化学研究所・吉備製薬工場 第21回研
究会 平成3年7月12日
- 岡山県総合畜産センター(現岡山県農林水産総合
センター・畜産研究所) 第23回研究会 平成4年
6月20日
- 岡山大学農学部・薬学部動物実験施設 第35回研
究会 平成10年7月18日
- ㈱林原生物化学研究所・藤崎研究所 第41回研究
会 平成13年6月22日
- 三谷恵一研究室(岡山大文学部・行動科学科心理学
研究室) 岡山大文化科学系総合研究棟 4階 オー
プンラボラトリーA 第45回研究会 平成15年6
月13日

岡山実験動物研究会報のこれまでの掲載内容

Conventional publication contents in Proceeding of Okayama Association
for Laboratory Animal Science

岡山実験動物研究会報は研究会創立の翌年1983年(昭和58年)に第1号が発行され、現在(2012年)まで29号が発行されています。掲載内容は第2号以降、あいさつ(会長)、講演要旨(記念・招待・特別講演)、寄稿、施設めぐり、研究会だより、会員名簿、組織・会則の順で構成されています。さらに、必要に応じて日本実験動物学会功労者受賞の紹介、賛助会員による講演要旨、教育講演要旨、特別寄稿、新刊書の紹介、追悼文、第53回日本実験動物学会総会・日本実験動物技術者協会第47回総会(岡山開催)の案内、参考資料、賛助会員による広告などを加えて、掲載しました。研究会だよりが続く会員名簿と組織・会則の目次は第2号以降の会報で共通なことから、削除しました。

岡山実験動物研究会報は岡山大学学術成果リポジトリ等へのコンテンツ登録及び公開がなされています。さらに、特定非営利活動法人医学中央雑誌(医中誌)刊行会及び科学技術振興機構(JST)における文獻情報のデータベース収録、公開がなされています。

第1号：1983年4月発行

祝辞 岡山大学長

大藤 眞

重井医学研究所長

妹尾佐知丸

あいさつ

岡山実験動物研究会の発足に当たって

会長 猪 貴義

第1回岡山実験動物研究会経過報告

常務理事 永井 廣

第2回岡山実験動物研究会開催予告

岡山実験動物研究会会則(案)

岡山実験動物研究会名簿

おしらせ

第2号：1984年4月発行

あいさつ

岡山実験動物研究会の一年の足跡を顧みて

会長 猪 貴義

特別講演要旨

齧歯類の発生のひずみをしらべる

常務理事 永井 廣

寄稿

ハムスターの子育て

矢部芳郎

実験動物の遺伝制御

河本泰生

実験動物としての日本ウズラ

佐藤勝紀

哺乳類の胃の比較形態

鈴木一憲・永井 廣

ニホンザルにみられた“下痢症”について

稲垣晴久

施設めぐり

岡山大学医学部附属動物実験施設

倉林 譲

林原生物化学研究所藤崎研究所

益田和夫

研究会だより

第11回静岡実験動物研究会研究発表に出席して

永井 廣

第6回静岡実験動物研究会討論会に出席して

倉林 譲

第2、3、4回岡山実験動物研究会講演会報告

第3号：1985年4月発行

あいさつ

岡山実験動物研究会の近況

会長 猪 貴義

特別講演要旨

ライフサイエンスの研究推進と実験動物

猪 貴義

実験動物の開発—特に遺伝学的手法について

永井次郎

寄稿

吉田豊三郎先生の実験ことはじめと人生

佐藤 博

薬理実験とその施設について

田坂賢二

経験に基づく実験動物とその施設について

三谷恵一

各種哺乳動物の乳成分組成の比較

片岡 啓

実験動物の全身麻酔の現況と将来

倉林 譲

第3回国際細胞生物学会議を主催して

沖垣 達

施設めぐり

川崎医科大学実験動物飼育センター

北 徳

ラビトン研究所付属ラビトン牧場

金田平八郎

研究会だより

第12回ヨーロッパ先天異常学会に出席して

永井 廣

実験動物シンポジウムに出席して

倉林 譲

第5、6回岡山実験動物研究会報告

第4号：1986年4月発行

あいさつ

岡山実験動物研究会の近況

会長 猪 貴義

特別講演要旨

実験動物と私

小川勝士

寄稿

飼育器具機材の発展史

佐藤善一

動物集団をどのようにとらえるか

吉田敏治

新薬開発における動物実験の問題点

亀井千晃・田坂賢二

日本ウズラにみられた近交退化現象

佐藤勝紀

岡山大学医学部附属動物実験施設におけるイヌ・ネ

コ、サル の検査検査成績について

横田泰江・

倉林 譲・野田昭一・大江茂一・大賀育造

施設めぐり

重井医学研究所

内藤一郎・沖垣 達

阪大微生物研究会観音寺研究所雲岡支所

安藤忠司・小野耕一・吉田 巖・林 政実・

入江進一・高延壮男

研究会だより

第7、8回岡山実験動物研究会報告

臨時特別講演会について

第9回岡山実験動物研究会報告

第5号：1987年7月発行

あいさつ

岡山実験動物研究会の近況

会長 猪 貴義

特別講演要旨

実験動物とのつきあい：大動脈吻合パラビオージス

妹尾佐知丸

実験動物における遺伝的モニタリングの意義と役割

山田淳三

寄稿

グッピー集団の一過性過剰移動

渡辺宗孝

哺乳類白歯の咬頭の個体発生

近藤信太郎

Dietary Fiberについて

中永征太郎

自動水洗ラックを用いた小動物の大量飼育

佐藤芳範・河口充宏・石川哲之・栗本雅司

カリフォルニア大学での動物実験事情

佐藤 遥

第34回日本実験動物学会総会の概要

佐藤勝紀

施設めぐり

島根医科大学医学部附属動物実験施設

鈴木秀作

(株)生物科学技術研究所

戸塚征彦

研究会だより

第10、11、12、13回研究会報告

昭和61年度役員会報告

岡山実験動物研究会の活動報告

第6号：1988年4月発行

あいさつ

岡山実験動物研究会5周年にあたり

会長 猪 貴義

特別講演要旨

動物の行動における記憶の機制

平野俊二

哺乳類中枢神経系の発生と分化

御子柴克彦

実験動物における発生工学の進歩

豊田 裕

寄稿

てんかんモデルマウス

(El, CBA, AKR, A/st, IDR, ICR マウス)

片山泰人

鳥類の卵殻腺におけるカルシウム分泌細胞

山本敏男

胃粘膜における粘液物質の組織化学的分類と機能

鈴木一憲

海産生物における実験動物化について思うこと

三枝誠行

施設めぐり

九州大学医学部附属動物実験施設の使用経験

半田純雄

日本チャールズ・リバー(株)日野飼育センター

亀山 巖

研究会だより

第14、15回岡山実験動物研究会報告

昭和62年度役員会報告

岡山実験動物研究会5年間の活動

第7号：1990年6月発行

あいさつ

実験動物研究の道程

会長 猪 貴義

特別講演要旨

実験動物としてみた節足動物

—特に神経行動学の立場から—

山口恒夫

実験動物としてのショウジョウバエ

浅田伸彦

バイオテクノロジー利用による新しいモデル動物の

開発

東條英昭

寄稿

実験科学における単一被験体法適用の意義

杉本完二

近隣諸国の実験動物事情

佐藤善一

実験用ラットの歴史について考える

西川 哲

食事のBulkと摂取量—白ネズミについて—

中永征太郎・彌益あや・佐藤孜郎

施設めぐり

滋賀医科大学医学部附属実験動物施設

鳥居隆三

研究会だより

第16、17、18回岡山実験動物研究会報告

平成元年度役員会報告

第8号：1991年6月発行

あいさつ

地域と結びついた発展を

会長 田坂賢二

特別講演要旨

動物実験における腎症候性出血熱の発生と終息

山之内孝尚

神経細胞の雑種形成

石井一宏

アセチルコリンおよびヒスタミン吸入に対する気道

感受性を異にするモルモットニ系統の選抜育種

三上博輝・西端良治・河本泰生・猪 貴義

寄稿

実験動物の出生前医学における役割

田中 修・橋本龍樹・帯刀禮子

線虫C・エレガンス麻酔剤応答異常に関わる遺伝子群

安藤秀樹

白ネズミの排便と食餌のエネルギー密度

中永征太郎・彌益あや・佐藤孜郎

マウスにおける水の効用

石井 猛・寺澤孝男・樋口久直

実験動物との関わり雑記

三上博輝

施設めぐり

香川医科大学動物実験施設

久城憲寿

株式会社ファブ

土倉 侃

研究会だより

第19、20回岡山実験動物研究会

平成2年度役員会報告

第9号：1992年6月発行

あいさつ

新年度発足に際して

会長 田坂賢二

特別講演要旨

癌と動物

栗本雅司

瀬戸内の森と林—自然林の生育とその生態的機能を

考える—

三枝誠行

寄稿

ビタミンB₁₂欠乏ラットの飼育

河田哲典・

山田和弘・和田政裕・田所忠弘・前川昭男

マウスにおける農業米、自然米の効用

- 石井 猛・寺本光徳
環境汚染物質に対するウズラ・ハムスターの感受性比較 高橋慎司・市瀬孝道・嵯峨井勝・高橋 弘
施設めぐり
第一製薬(株)動物実験施設 関口富士男
研究会だより
第21、22回岡山実験動物研究会
平成3年度役員会報告
企業(賛助会員2社含む)広告(5社)
第10号:1993年6月発行
あいさつ
会長就任の御挨拶 会長 栗本雅司
特別講演要旨
環境の発ガン物質に対するヒト曝露の研究 早津彦哉
腫瘍拒絶の細胞性機構 中山馨一
重粒子線の生物学的効果と医学利用 大原 弘
哺乳類初期胚の凍結保存と体外受精 野上與志郎
寄稿
鶏卵の活動電位における雌雄鑑別方法と、pH測定による生死の鑑別に関する研究 石井 猛・末田孝博・門田太司
ラット率丸に及ぼすビタミンB₁₂欠乏の影響 河田哲典・武田裕子・田中信夫・山田和弘・和田政裕・田所忠弘・前川昭男
施設めぐり
(株)大塚製薬工場動物実験施設 塩本泰久
中外製薬(株)富士御殿場研究所 龍味哲夫
研究会だより
第23、24回岡山実験動物研究会
平成4年度役員会報告
岡山実験動物研究会のあゆみ
岡山実験動物研究会開催の宣伝(岡山リビング新聞社)
(社)日本実験動物協会からの送付物の紹介
第11号:1994年7月発行
あいさつ
動物実験とマスコミ 会長 栗本雅司
特別講演要旨
動物におけるシートからの形づくり 本多久夫
招待講演要旨
古生物の進化を見せる博物館建設へ 石井健一
寄稿
中国実験動物雲南霊長類センターの紹介 劉 艶 薇
神経細胞の初代培養法の改良 石井一宏
Change of Physiological and Psychological Functions Based on the Combination of Early and Late Experience
(初期経験と後期経験との組み合わせによる生理的機能と心理的機能の変化)
三谷恵一、ダイガム・ベンハッシン
施設めぐり
日本クレア株式会社 増田恭造
研究会だより
第25、26回岡山実験動物研究会
平成5年度理事会報告
(社)日本実験動物協会からの送付物の紹介
他の研究会からの送付物の紹介
日本実験動物技術者協会からの送付物の紹介
岡山実験動物研究会のあゆみ
第12号:1995年7月発行
あいさつ
時代の節目と変革 会長 栗本雅司
特別講演要旨
下垂体前葉細胞の増殖調節 高橋純夫
実験動物とワクチンの品質管理—日本脳炎ワクチン力価試験用マウスの検討— 小野耕一・大西敏之
遺伝子ノックアウトマウス作製と免疫応答解析への利用 高井俊行
招待講演要旨
ケージサイズについて考える 佐藤徳光
寄稿
日生研において維持されているニワトリの近交系およびミュータント系(疾患モデル系) 水谷 誠
実験動物の泌乳 高橋寿太郎
佐藤 博先生追想 猪 貴義
施設めぐり
鳥取大学医学部附属動物実験施設 柴原壽行
研究会だより
第27、28回岡山実験動物研究会
第13号:1996年9月発行
第30回記念写真
あいさつ
第30回研究会を終わって 会長 栗本雅司
特別講演要旨
ゴキブリの生態と駆除 西村 昭
動物催眠—防衛行動としての死んだふり 酒井正樹
細胞癌化の機構 清水憲二
寄稿
ケージサイズの動向について 倉林 讓
鉦石「苾菝丸」によるマウスへのホルミシス効果について 石井 猛・仁科一成・峯 真司
希少野生鳥類及び近交系ウズラでの情報管理システムの作成 高橋慎司・清水 明・土屋英明
施設めぐり
オリエンタル酵母工業株式会社 三嶋信秋・桑原吉史
研究会だより
第29、30回岡山実験動物研究会
第14号:1997年10月発行
あいさつ:会長就任の挨拶 会長 佐藤勝紀
特別講演要旨
大型ウサギの実験動物化に関する研究 松田幸久
コラーゲン遺伝子改変と動物の疾患モデル 二宮喜文
マスト細胞の研究に有用なミュータント動物 北村幸彦
寄稿
マウスにおける塩酸ヨヒンピンの効能について 石井 猛・大西達哉・峯 真司

アルコール長期飲用(6カ月)による肝臓機能ならびに脂肪代謝への影響に対するアルカリ性水の効用
鈴木政美・倉林 譲
ウサギケージの大きさによる行動学的研究—特に在来型 FRP ケージとの比較について—

倉林 譲・上山和貴・大光宗義

施設めぐり

広島大学医学部附属動物実験施設の紹介

古川敏紀・信清麻子・神崎道文

研究会だより

第31、32回岡山実験動物研究会

特別講演会

平成8年度理事会報告

岡山実験動物研究会のあゆみ

第15号:1998年9月発行

創立15周年記念写真

あいさつ

岡山実験動物研究会創立15周年を迎えて

会長 佐藤勝紀

記念講演要旨

ライフサイエンスの展開と実験動物

猪 貴義

特別講演要旨

疾患モデル動物の開発と応用

—糖尿病Ⅱ型ウズラをめぐる—

菊池建機

癌の遺伝子治療

田中紀章

寄稿

実験動物における眼検査

古川敏紀

ウサギの行動特性観察による昼行性・夜行性解析

倉林 譲・上山和貴

施設めぐり

岡山大学農学部・薬学部動物実験施設

佐藤勝紀

研究会だより

第33回岡山実験動物研究会

創立15周年記念第34回岡山実験動物研究会

第35回岡山実験動物研究会

平成9年度理事会報告

岡山実験動物研究会の15年間の活動経過

佐藤勝紀

参考資料(実験動物生産施設・設備および管理に関する指針とその解説—マウス、ラット、ハムスター、モルモット、ウサギ編—(社)日本実験動物協会)

第16号:1999年9月発行

あいさつ

臓器移植と遺伝子治療の最前線

会長 佐藤勝紀

記念講演要旨

内分泌攪乱物質(環境ホルモン)の何が問題か

井口泰泉

特別講演要旨

薬物依存形成における diazepam binding inhibitor (DBI) の役割

大熊誠太郎・桂 昌司

両生類の経皮的な水分摂取機構と陸上適応

上島孝久

骨粗鬆症疾患モデルとその評価法

西崎泰司

上海実験動物科学の進展

王 楠田

寄稿

ルフテン Tg の開発

斎藤正信・大城匡豊・

銀 一之・橋詰敏雄・倉林 譲

ALS系・ALR系マウスにおける視床下部障害性肥満の誘導と糖尿病態発現—L-アスパラギン酸ナトリウム(MSA)投与による肥満誘導と糖尿病態—

山下 撰・石橋光太郎・関口富士男・佐藤勝紀

白ネズミにおける海藻の有効エネルギー量ならびに大腸内産生エネルギー量について

中永征太郎

施設めぐり

徳島大学医学部附属動物実験施設

小瀬博之

研究会だより

第36、37回岡山実験動物研究会

平成10、11年度理事会報告

地域実験動物研究会の活動紹介

第17号:2000年9月発行

猪 貴義先生 日本実験動物学会功労賞受賞

あいさつ

21世紀は絶滅動物の復活の世紀に

会長 佐藤勝紀

特別講演要旨

Tg動物飼育システム STAR 及び STAR/OK の紹介

柳原 茂・岩宮正治・内山憲一・浦野 徹・倉林 譲

モンゴル恐竜共同調査6年間のあゆみ

鈴木 茂

寄稿

熱ストレスに対するマウスの感受性の系統間比較

山元昭二・佐藤勝紀・安藤 満

HPLCを用いた昆虫のカテコナールアミン関連酵素活性測定法

浅田伸彦・山崎重雄

IV型コラーゲンとIV型コラーゲン遺伝子異常症(Alport症候群)動物モデル

内藤一郎

施設めぐり

山口大学医学部附属動物実験施設

山口和人

大阪大学医学部附属動物実験施設

黒澤 努

研究会だより

第38、39回岡山実験動物研究会

平成11年度第2回、平成12年度第1回理事会報告

地域実験動物研究会の活動紹介

参考資料(生命科学・動物実験に関する最近のトピックス、毎日新聞記事より引用)

第18号:2001年9月発行

あいさつ

動管法改正と情報開示

会長 倉林 譲

記念講演要旨

実験動物研究の50年を顧みて

猪 貴義

招待講演要旨

ブタ MHC クラスⅡ遺伝子の DNA タイピングと梅山豚

の免疫特性

小松正憲

特別講演要旨

多因子疾患原因遺伝子の Positional Cloning への取

組み—肥満・高脂血症・高血糖を支配する遺伝子の

解明—

渡邊 武

医薬品開発サポート業の現状

金田平八郎

機能性食品業界の最近の研究動向

井上良計

遺伝子レベルで細胞から個体まで研究出来る線虫モ

デル

香川弘昭

寄稿

The Development of Laboratory Animal Science in China and Japan

Jia-ming Tang and Yuzuru Kurabayashi
生態学的動的視野においては水平線分の誘目性は垂直線分の誘目性よりも高く、両パターンとも右視野中心で視覚走査される

三谷 恵一

追悼文

佐藤善一先生追悼

猪 貴義

講演に基づく広告

株式会社ラビトン研究所

金田平八郎

施設めぐり

高知医科大学医学部附属動物実験施設 古谷正人

愛媛大学医学部附属動物実験施設

藤原 隆・樺木勝巳

研究会だより

第40回、41回岡山実験動物研究会

平成12年度第2回、平成13年度第1回理事会報告

地域実験動物研究会の活動紹介

参考資料(生命科学・動物実験に関する最近のトピックス)

第19号:2002年9月発行

あいさつ

動物実験研究の最新の動向

会長 倉林 譲

特別講演要旨

細胞死(アポトーシス)のシグナル伝達機構と生体における役割—アポトーシス実行因子カスパーゼ8を中心—

酒巻和弘

がんと免疫

中山 馨一

不妊治療の現状と問題点

沖津 摂・三宅 馨

寄稿

結核の病因についてのコッホの論文—ことに、その動物実験—

矢部芳郎

Evaluations of River-eco charcoal on the blood routine and blood biochemical values in rats

Y. Kurabayashi, J.M. Tang, E.Q. Liu,

Y. Yamaguchi, and S. Yamada

HPLCを用いたカテコールアミン関連酵素突然変異体の検討

浅田伸彦

新たな実験手技・ラット頸部髄腔内投与法の有用性の評価—麻酔増強作用による行動薬理学的試験での検討—

村中清志・佐加良英治・倉林 譲

施設めぐり

東京慈恵医科大学に新設された実験動物研究施設の紹介

岩城隆昌

慶應義塾大学医学部の共同動物実験施設 下田耕治

研究会だより

第42、43回岡山実験動物研究会、理事会報告

岡山実験動物研究会の20年間のあゆみ 佐藤勝紀

岡山実験動物研究会報のこれまでの掲載内容

地域実験動物研究会の活動紹介

第20号:2003年9月発行

あいさつ

動物実験による生命科学の動向 会長 倉林 譲

記念講演要旨

実験動物科学の目覚ましい進歩発展を顧みて、見逃されている大切な問題を考える(その1) 今道友則
特別講演要旨

『脳と知覚学習—環境生理学の再出発』(1)

三谷 恵一

カメムシの飼育と応用に関する最近の話題

安永智秀

賛助会員による講演要旨

有限会社山本理化学の事業概要

山本義明

弱酸性次塩素酸水を用いた新たな動物実験施設での衛生管理の可能性—ホルマリン燻蒸に替わる新たな消毒資材としての活用 飼育汚物排水の消毒処理への応用の可能性—

山下光治・三宅真名・小野朋子・

那須玄明・重本雅之・橋本晴夫・増田 礎・

中山英治・倉林 譲

動物実験製品紹介—医療機器メーカーの視点から—

平林白一・鴻池将義

寄稿

下垂体インスリン様成長因子Iの生理的意義について—下垂体内制御機構について—

高橋純夫・

本多淳一・真鍋芳江・松村龍成・竹内 栄

地球温暖化による健康影響研究と実験動物

山元昭二・安藤 満・佐藤勝紀

アレルギー性疾患の動物モデル

杉本幸雄

実験動物の麻酔法

倉林 譲

施設めぐり

滋賀医科大学・動物生命科学センターの紹介

鳥居隆三

研究会だより

第44、45回研究会、理事会報告

地域実験動物研究会の活動紹介

参考資料(生命科学・動物実験に関する最近のトピックス、毎日新聞より引用)

第21号:2004年9月発行

あいさつ

第51回日本実験動物学会総会からみた最近の研究動向

会長 倉林 譲

記念講演要旨

実験動物科学の目覚ましい進歩発展を顧みて、見逃されている大切な問題を考える(その2) 今道友則
特別講演要旨

『脳と知覚学習—環境生理学の再出発』(2)

三谷 恵一

クラレにおける化学物質の有害性評価の取り組み

嶋村三智也

賛助会員による講演要旨

殺菌と洗浄について

古本尚希

寄稿

α-メラノサイト刺激ホルモンによるプロラクチン分泌の促進作用—下垂体中葉による前葉機能の制御機構—

高橋純夫・松村龍成・竹内 栄

高血圧自然発症ラットの血圧および学習行動に及ぼす紅麹の影響 四宮一昭・安達 達・重本有紀・

河野勇人・藤井陽子・亀井千晃
白ネズミによる飼料中のエネルギー利用率

中永征太郎

高脂肪・高カロリー飼料が *Megl/Grb10* 遺伝子導入マウスの糖尿病発症に及ぼす影響

山本美江・鈴木 治・山田-内尾こずえ・
石野-金児智子・松田潤一郎・佐藤勝紀

新刊書の紹介

生物進化の謎を解くー人類の進化までを含めて解説
「猪 貴義著」

及川卓郎

施設めぐり

京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設の紹介
芹川忠夫

研究会だより

第46、47回研究会、理事会報告

地域実験動物研究会の活動紹介

賛助会員による広告(7社)

第22号:2005年12月発行

あいさつ

動物の輸入届出制度について 会長 倉林 譲

記念講演要旨

犬の来た道

田名部雄一

特別講演要旨

軟骨形成不全症モデル動物を用いた長管骨の成長を
制御する遺伝子の解析 辻 岳人

寄稿

岡山実験動物研究会の原点を探る 猪 貴義

マウス子宮におけるインターロイキン-18 遺伝子の
発現 村上要介・楠本憲司・大月真理子・
竹内 栄・高橋純夫

医学教育用シミュレーターについて

倉林 譲・丸尾幸嗣・楊 果杏・湯 家銘・劉 恩岐
糖尿病モデル *Megl/Grb10* 遺伝子導入マウスの血漿成
分について 山本美江・鈴木 治・山田-内尾こずえ・
石野-金児智子・松田潤一郎・佐藤勝紀

施設めぐり

独立行政法人国立環境研究所ナノ粒子健康影響実験
棟について 山元昭二・高橋慎司・鈴木 明

第53回日本実験動物学会総会の案内

研究会だより

第48、49回、50回研究会、理事会報告

第23号:2006年12月発行

あいさつ

第53回(社)日本実験動物学会総会(神戸国際会議場)
を終わって 会長 倉林 譲

招待講演要旨

サルES細胞樹立と再生医療研究への活用 鳥居隆三

野生由来マウス系統の遺伝的多様性を利用した行動
の遺伝学的解析 小出 剛

DNA 診断での偽装表示と美味しい牛肉を見抜く
万年英之

特別講演要旨

動物園と動物たち、そして人 赤迫良一

特別寄稿

実験動物で働いたことを顧みて

本庄重男

寄稿

故山下貢司先生(名誉会員)に心より哀悼の意を捧げ
ます 初鹿 了

脊髄穿刺ラットを用いた循環薬理学的研究

高取真吾・川崎博己・見尾光庸

実験動物の麻酔の基本と問題点 倉林 譲

白ネズミによる米ぬかの不消化物中のエネルギー含
量の推定 泉 友美子・中永征太郎

HTLV-1tax 遺伝子導入マウスにおける成人 T 細胞白
血病モデルとしての有用性の検討

山本美江・棚林 清・山田章雄・澤 洋文・
長島和郎・佐多徹太郎・倉田 毅・
William W.Hall・佐藤勝紀・長谷川秀樹

施設めぐり

筑波大学生命科学動物資源センター 八神健一

研究会だより

第51回研究会、理事会報告

参考資料(動物実験の適正な実施に向けたガイドラ
イン(抜粋):日本学術会議・既存化学物質の有害性情
報の調査方法(その第一歩):嶋村三智也)

第24号:2007年12月発行

あいさつ

岡山実験動物研究会の再出発 会長 三谷恵一

記念講演要旨

食物繊維の機能とエネルギー値 中永征太郎

特別講演要旨

倫理的動物実験の実践へ向けて~動物実験関係者の
社会的責任を明確に、具体的に~ 北 徳

教育講演要旨

ナノテクノロジー材料の安全性問題を認識するた
めに(調査報告) 嶋村三智也

寄稿

高圧下ならびに減圧下におけるマウスの血液ガス値
ならびに麻酔導入時間ならびに覚醒時間に及ぼす影
響 倉林 譲

マウス下垂体におけるプロオピオメラノコルチン遺
伝子の発現制御 村上逸雄・竹内 栄・高橋純夫

2型糖尿病モデル動物 *Megl/Grb10* 遺伝子導入マウス
の有用性の検討ー血漿成分及び糖尿病関連遺伝子の
発現と発症の解析ー 山本美江・鈴木 治・
山田-内尾こずえ・石野-金児智子・松田潤一郎・
佐藤勝紀

環境ナノ粒子による健康影響、カーボンナノ粒子が
グラム陽性菌細胞壁成分による肺の炎症反応に及ぼ
す影響 山元昭二

施設めぐり

川崎医科大学医用生物センター
大月真理子・小郷 哲・沖野哲也・大熊誠太郎

研究会だより

第52、53、54回研究会、理事会報告

第25号:2009年3月発行

あいさつ

岡山実験動物研究会の再出発(その2)

会長 三谷 恵一

特別講演要旨

黒色鶏やカラスはなぜ黒い？

～下垂体中葉を欠く鳥類に体色制御の α -MSH調節系は存在するか～

竹内 栄

コオロギを実験動物とした生物時計の解析：時計遺伝子 *period* のリズム発現機構における機能解析

坂本智昭・守山禎之・富岡憲治

性決定機構・性判別の研究から出発して

～マウス、トゲネズミ、ウシ等に関するトピックス～

須藤鎮世

糖尿病性壊疽に対するマゴットセラピーの可能性

三井秀也

視覚の遺伝子

佐藤忠文

岡山市内の休耕田を利用したアユモドキの自然産卵

青 雅一

アユモドキの“淡水回遊”と氾濫原環境への適応

～吉井川水系における生態学的研究～

阿部 司

寄 稿

鍼灸療法が動物の健康に役立つ可能性

倉林 謙

暑熱ストレスによる実験動物の生化学的ならびに組織学的変化

浅沼信治・佐藤勝紀・安藤 満・川原一祐

遠赤外線による魚の育成に関する考察

石井 猛・

木村碩志・延原玲子・岡田敏彦・福田星人

スunksの消化管形態の巨視的観察と消化・吸収研究におけるスunksの可能性

高橋 徹・

原 朋美・登川真理・川田由香・織田銑一

施設めぐり

岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部

門鹿田施設

樺木勝巳・落合和彦

研究会だより

第 55、56 回研究会、理事会報告

第 2 6 号：2010 年 5 月発行

あいさつ

岡山実験動物研究会の再出発(その 3)

会長 三谷 恵一

記念講演要旨

花粉症と抗アレルギー薬の話

亀井千晃

岡山大学農学部家畜育種学教室におけるマウスとウズラの研究紹介

佐藤勝紀

特別講演要旨

線虫 *C. elegans* の遺伝子と遺伝子の虫

香川弘昭

日本鶏における形態的・遺伝的多様性ならびにその利用

都築政起

寄 稿

動物の経穴図はあるのか？

倉林 謙

揮発性有機化合物の胎仔期曝露による仔マウスの

Th1、Th2 型免疫応答のかく乱

山元昭二・Tin-Tin Win-Shwe・藤巻秀和

ゼブラフィッシュは生得的に「円」パターンを避け「倒立三角形」パターンを視覚的に求める

三谷 恵一

ミヤマオウム *Nestor notabilis* の性別判定

米田一裕

カリフォルニア大学群における Global Health およびカリフォルニア大学、デビス校における One Health Center への取り組みおよびカリフォルニアラッコの生態、歴史的背景、保護並びに研究

笹岡香織・Jonna A. K. Mazet・石井 猛

電磁波による生物生体に対するミコフ式・環境療法の研究(第一報)

石井 猛・木村碩志・岡田敏彦・延原玲子・山村 勲

追悼文

小川勝士先生を偲んで

矢部芳郎

施設めぐり

岡山理科大学理学部動物学科棟(第 28 号館)

浅田伸彦

研究会だより

第 57、58 回研究会、理事会報告

参考資料(「施設めぐり」に紹介された施設名・会員持ち回り会場)

賛助会員による広告(4 社)

第 2 7 号：2011 年 5 月発行

倉林 謙先生 日本実験動物学会功労賞受賞

あいさつ

岡山実験動物研究会の再出発(その 4:2010 年度)

会長 三谷 恵一

特別講演要旨

マメジカの生理学的特性—原始的な反芻動物の形態・生理および習性—

福田勝洋

川崎医科大学医用生物センターにおける管理運営の現状

～微生物統御、衛生管理を中心として～

井上真理子・三上崇徳・小郷 哲・沖野哲也・大熊誠太郎

両生類のように人間は再生できるようになるのか？

佐藤 伸

実験動物としてのウズラの有用性

高橋慎司・清水 明・川嶋貴治

賛助会員による講演要旨

マイナスイオンの効能効果とオーリラの開発と試験について

長澤 通

寄 稿

雌マウス生殖器官における Runx3 の役割

土家由起子・佐久間敦子・竹内 栄・高橋純夫

転写因子 Pit-1 の下垂体外組織における発現と下垂体ホルモンの発現制御

谷内秀輔・高橋純夫・竹内 栄

犬および猫の東洋医学的診断

竹内裕司・今井さくら・金山知世・倉林 謙

電磁波による生物生体に対するミコフ式・環境療法の研究(第二報)

石井 猛・木村碩志・岡田敏彦・延原玲子・山村 勲

カリフォルニア大学群における第 1 回 Global Health 学会について(第 2 報)

笹岡香織・

Jonna A. K. Mazet・Patricia Conrad・石井 猛

施設めぐり

(独)放射線医学研究所 実験動物開発・管理課の紹介

西川 哲

岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部
門津島北施設 縦木勝巳・高嶋留美・松川昭博
研究会だより

第 59、60 回研究会、理事会報告

参考資料(動物の愛護及び管理に関する法律の改正
1973 年制定・2005 年改正・2006 年施行、動物実験の
適正な実施に向けたガイドライン:日本学術会議

2006 年 6 月 1 日、研究機関等における動物実験等の
実施に関する基本指針:文部科学省告示 第 71 号

平成 18 年 6 月 1 日、実験動物の授受に関わるガイド
ライン—マウス・ラット編— 昭和 59 年 5 月 31 日
制定、平成 22 年 5 月 6 日改定)

賛助会員による広告(4 社)

第 2 8 号:2012 年 4 月発行

あいさつ

岡山実験動物研究会の再出発(その 5:2011 年度)

会長 三谷恵一

特別講演要旨

日本産ナメクジウオの飼育コロニーの確立

安井金也

植物培養細胞を活用して基礎研究と産学連携研究を
追求して 濱田博喜

実験動物と動物実験について今思うこと 西川 哲

賛助会員による講演要旨
最近の実験動物用マイクロ X 線 CT 装置~R_mCT2 製品
紹介~ 濱中 功・佐藤貴久・細井 實

動物実験施設などに於ける脱臭・除菌を目的とした
光触媒技術の応用 高岡 秀

寄稿

弱酸性次亜塩素酸水溶液のスギ花粉アレルギー
Cryj1 に対する不活化効果 小野朋子・山下光治

マイクロアレイによるニワトリ性的二色性の分子基
盤の解析

深尾彩加・中岡実乃里・高橋純夫・竹内 栄
生体の疼痛について 倉林 讓

温泉による生物生体に対するミコフ式・環境療法
の研究(第三報) 石井 猛・木村碩志・岡田敏彦・
延原玲子・山村 勲

アメリカにおける One Health Research の発展と展
望(第 3 報) 笹岡香織・Jonna A. K. Mazet・石井 猛

ICR 系マウスの遺伝子資源としての有用性
山本美江・内尾・山田こずえ・高野 薫・
小倉淳郎・浅野敏彦・中川雅郎

施設めぐり
倉敷芸術科学大学動物実験室および教育動物病院
古本佳代・前田憲孝・神田鉄平・加計 悟・
湯川尚一郎・村尾信義・古川敏紀

研究会だより
第 61、62 回研究会、理事会報告

賛助会員による広告(8 社)

第 2 9 号:2013 年 4 月発行

創立 30 周年記念写真

あいさつ

岡山実験動物研究会の再出発(最終版:2012 年度)

会長 三谷恵一

岡山実験動物研究会 2013-2014 年度会長の新任によ
りよせて 新会長 織田統一

創立 30 周年記念特集

岡山実験動物研究会創立 30 周年を記念して

猪 貴義

岡山実験動物研究会 創立 30 周年を祝す 栗本雅司

岡山実験動物研究会創立 30 周年を迎えて 倉林 讓

岡山実験動物研究会の 30 年間の活動 佐藤勝紀

記念講演要旨

安全の科学とリスクコミュニケーション 唐木英明

招待講演要旨

実験用ラット研究の進展 芹川忠夫

特別講演要旨

一級実験動物技術者特例認定制度の課題と展望

大和田一雄

脊髄を介するグレルインの大腸運動促進作用

平山晴子・縦木勝巳・椎名貴彦・志水泰武

物質輸送における細胞間連携の重要性:心臓組織お
よび内耳血管条組織を例として 安藤元紀

岡山実験動物研究会 30 年のあゆみ 佐藤勝紀

寄稿

マウス子宮内膜におけるインスリン様成長因子結合
タンパク質 3 の役割 前川哲弥・竹内 栄・高橋純夫

名水による生物生体に対するミコフ式・環境療法
の研究(第 4 報) 石井 猛・岡田敏彦・山村 勲・
有元昭則・有元浩司・和田恭介

施設めぐり

神戸大学大学院医学研究科附属動物実験施設

塩見雅志・伊藤 隆・小池智也・中村俊一

案内

日本実験動物技術者協会 第 47 回総会 in 晴れの国
岡山

研究会だより

第 63、64 回研究会、理事会報告

賛助会員による広告(7 社)

会員名簿、組織・会則は第 2 号(1984)から、また
研究会だより「会費に関する内規」は第 14 号(1997)
から、さらに「会報投稿規程」は第 17 号(2000)から
掲載されています。